

令和5年度

県民ニーズ調査
報告書

令和5年9月

福岡県

◇◇ 目 次 ◇◇

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査の企画と実施機関	2
II. 対象者属性	3
III. 調査結果	7
1. 新型コロナウイルス感染症の影響について	7
(1) 暮らしの変化	7
① 本人または家族への影響	7
② 悩みやストレスの相談先	8
③ 余暇、趣味など日々の暮らしへの影響	9
(2) 仕事の変化	10
① 仕事への影響	10
② 働き方への影響	11
2. 県の施策について	12
☆ 県政の各分野において、行政に対して力を入れてほしいこと ☆	12
(1) 新型コロナウイルス感染症対策	12
(2) 県の広報	13
(3) 次代を担う「人財」の育成	14
(4) 「世界から選ばれる福岡県」の実現	15
(5) ワンヘルスの推進	16
(6) 商工業	17
(7) 農林水産業	18
(8) 観光	19
(9) 雇用、働き方	20
(10) デジタル化	21
(11) 保健・医療	22
(12) スポーツ	23
(13) 文化	24
(14) 高齢者	25
(15) 障がいのある人	26
(16) 人権	27
(17) 国際交流	28
(18) 防犯・交通安全	29
(19) 地域振興	30
(20) 移住・定住、企業誘致	31
① 移住・定住	31
② 企業誘致	32
(21) グリーン社会	33
(22) 教育	34
(23) こども・子育て支援	35
(24) 防災	36
(25) 重点分野	37
3. 自由意見	38

I. 調査概要

1. 調査目的

県が進める施策に対する県民ニーズや新型コロナウイルス感染症の影響による暮らしや仕事の変化を把握し、今後の県政運営へ反映させることを目的とする。

2. 調査設計

- | | |
|------------|--|
| (1) 調査地域 | 福岡県全域 |
| (2) 調査対象者 | 県内に居住する 18 歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 4,000 サンプル |
| (4) 標本抽出方法 | 層化二段無作為抽出
県内各市区町村の人口数を基に調査地点数を決定し、400 地点を無作為抽出。ただし、単純に比例配分すると集計・分析に耐えうる十分な資料が得られない地点が出るため、北九州、福岡、筑豊、筑後の 4 地域に分け、各地域 100 地点になるよう、均等に割り当てを行った。その後、調査地点ごとに「選挙人名簿」から 1 地点 10 名、合計 4,000 名を抽出した。 |
| (5) 標本抽出台帳 | 令和 5 年 5 月現在の選挙人名簿 |
| (6) 調査方法 | 郵送法・インターネット回答 |
| (7) 調査期間 | 令和 5 年 6 月 23 日～令和 5 年 7 月 14 日 |
| (8) 回収数（率） | 1,703 サンプル（42.5%） |
| (9) 集計方法 | 地点数を 4 地域で均等配分したため、以下の方法でウェイト値を算出し、加重集計を行う。
①各地域の調査対象年齢の人口を算出。
②各地域の人口を最も人口の少ない地域の人口で除し、人口比の係数を求める。
③各地域の有効回収数を人口の最も少ない地域の有効回収数で除し、サンプル数の係数を求める。
④人口比の係数をサンプル数の係数で除し、ウェイト値を求める。 |

(10) 地域区分 調査地域は下記のとおり、4地域に区分している。

地域	北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
政令指定都市	北九州市	福岡市		
市	行橋市 豊前市 中間市	筑紫野市 春日市 大野城市 宗像市 太宰府市 古賀市 福岡市 朝倉市 糸島市 那珂川市	直方市 飯塚市 田川市 宮若市 嘉麻市	大牟田市 久留米市 柳川市 八女市 筑後市 大川市 小郡市 うきは市 みやま市
町村	芦屋町 水巻町 岡垣町 遠賀町 苅田町 みやこ町 吉富町 上毛町 築上町	宇美町 篠栗町 志免町 須恵町 新宮町 久山町 粕屋町 筑前峰村	小竹町 鞍手町 桂川町 香春町 添田町 糸田町 川崎町 大任町 赤福智町	大刀洗町 大木町 広川町

3. 調査の企画と実施機関

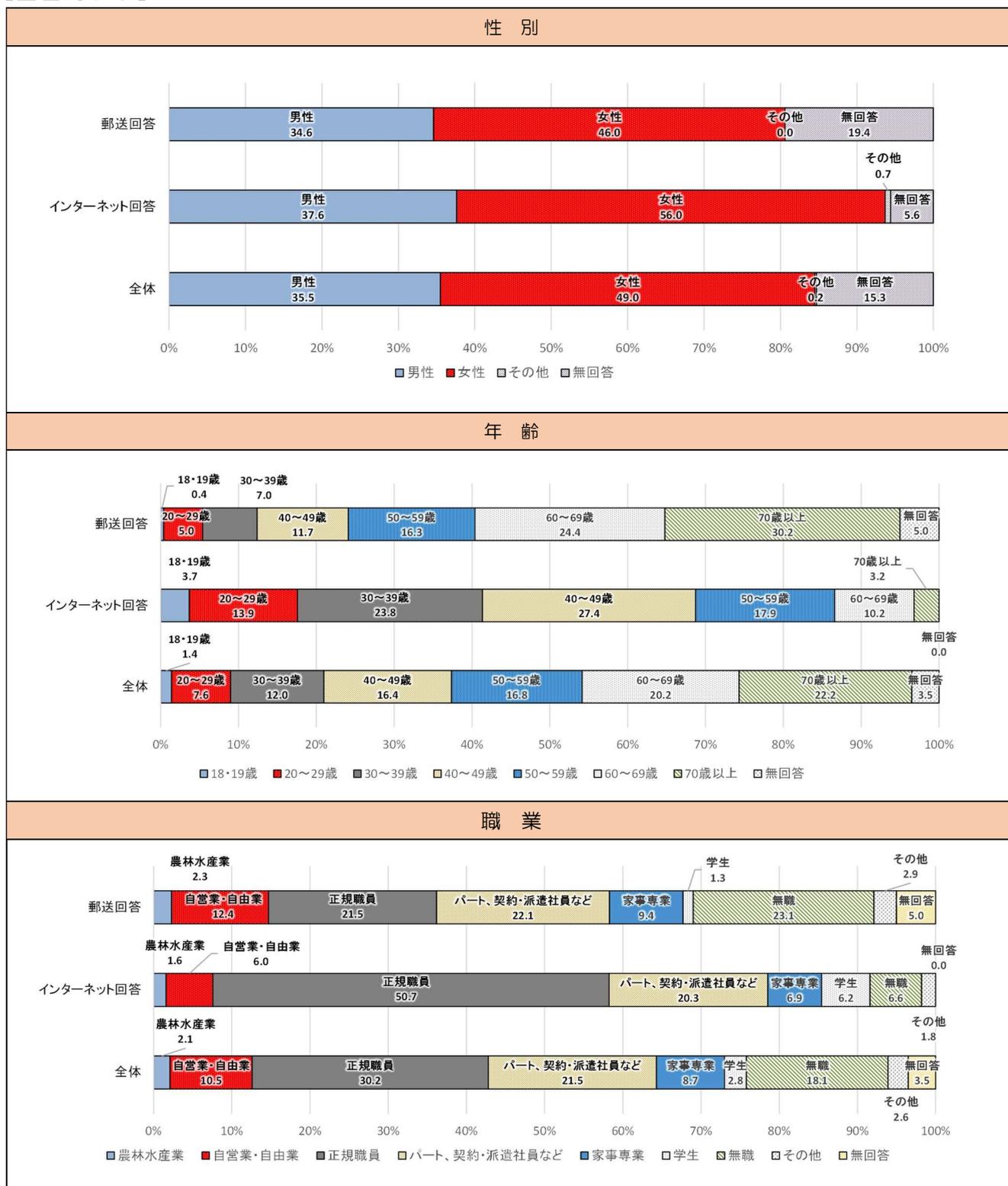
企 画 福岡県 企画・地域振興部 総合政策課
調査実施機関 株式会社サーベイリサーチセンター 九州事務所

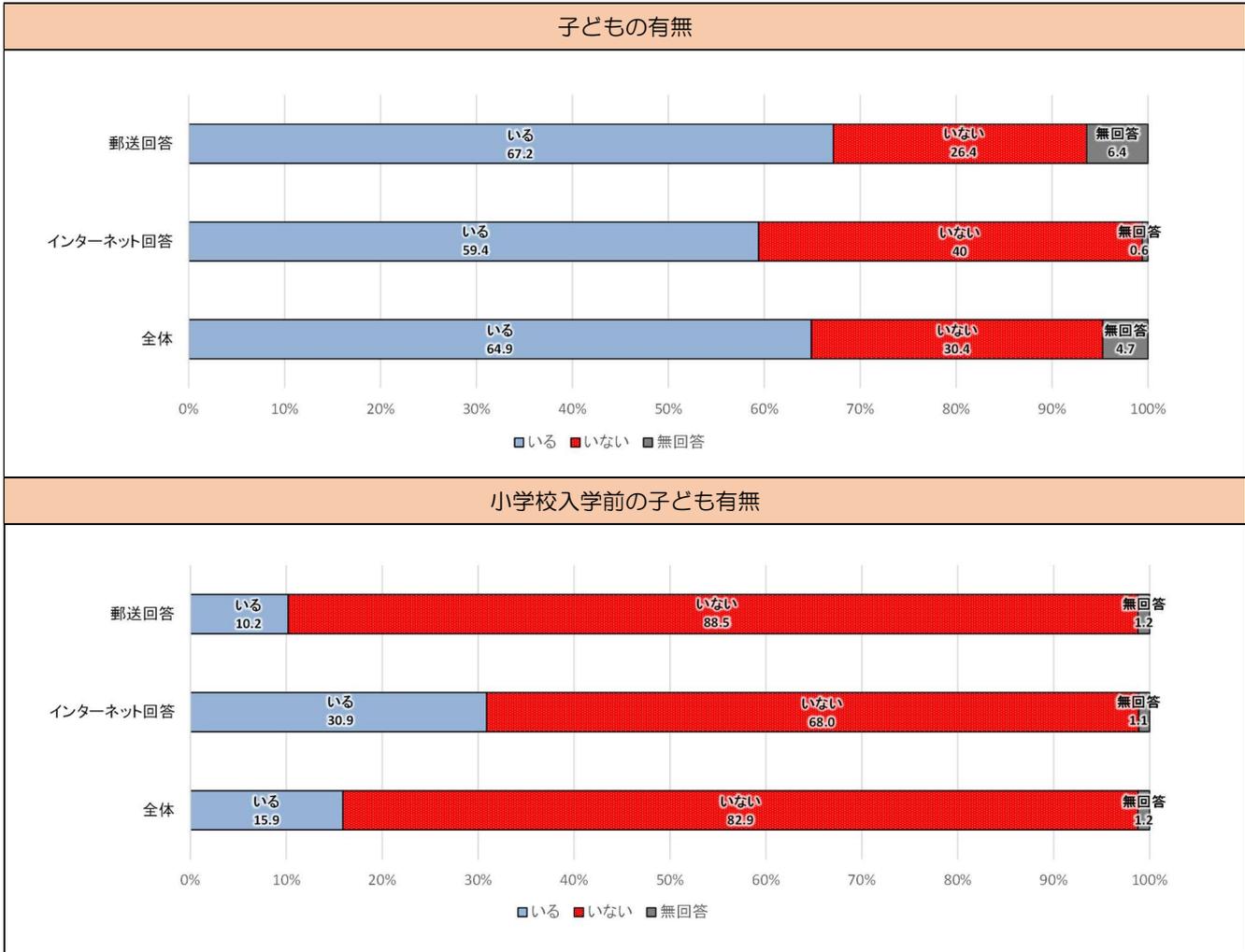
【 調査結果利用上の注意 】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表に示す選択肢は、スペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。

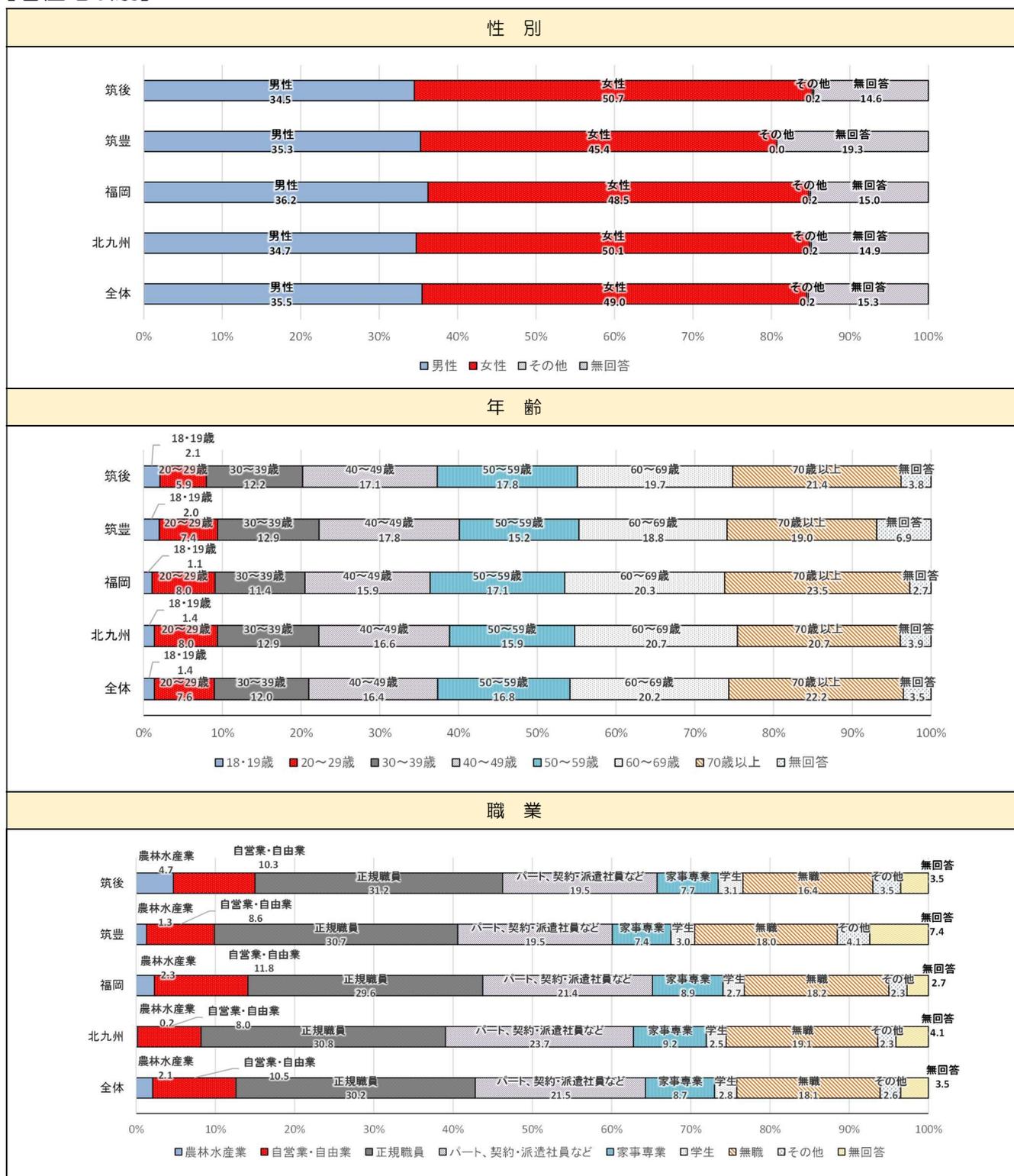
II. 対象者属性

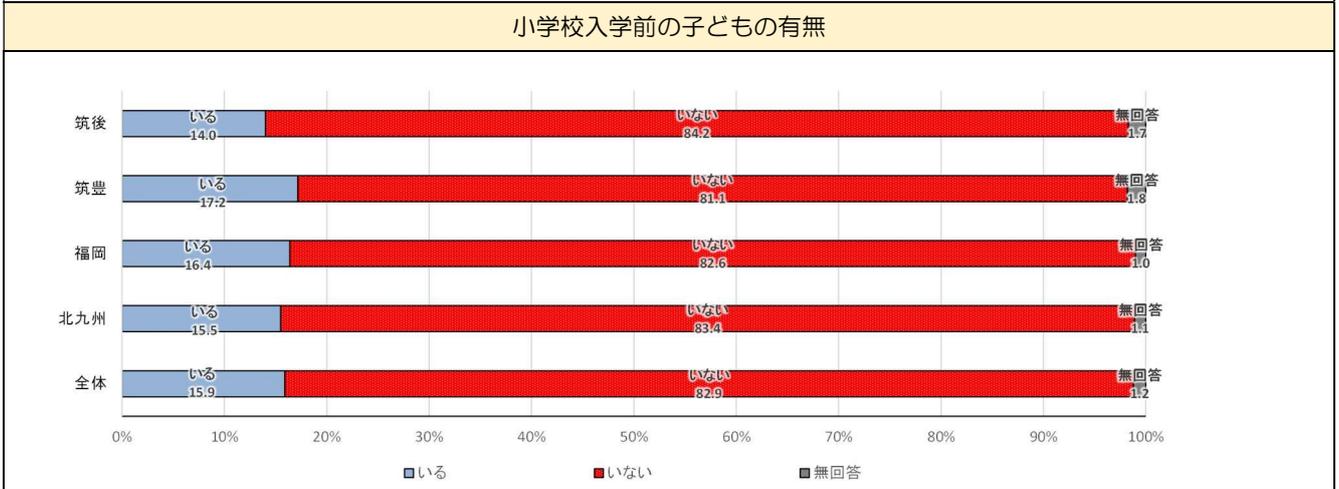
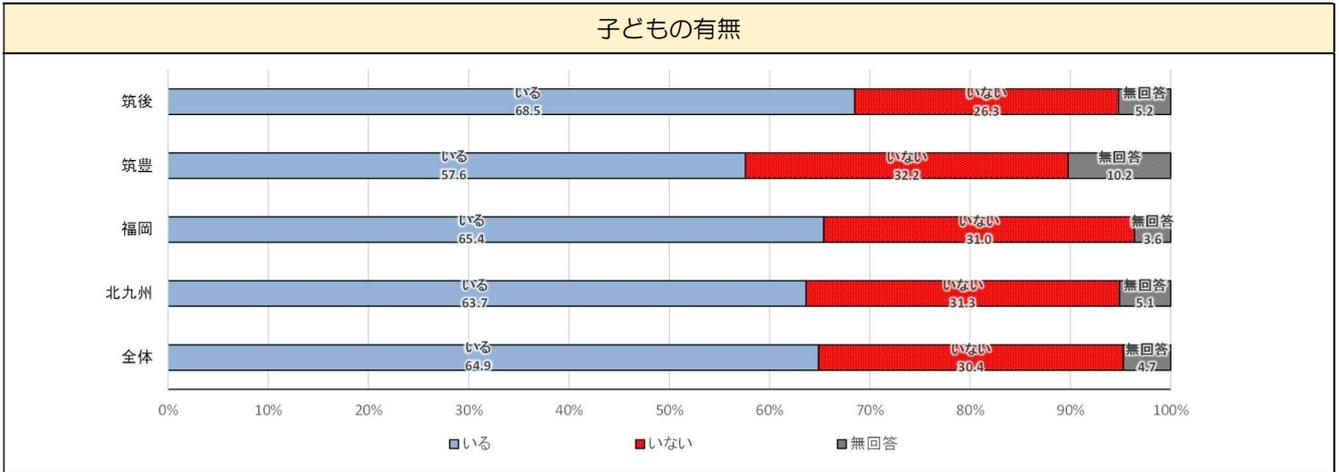
【回答方法別】





【居住地域別】





Ⅲ. 調査結果

1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

(1) 暮らしの変化

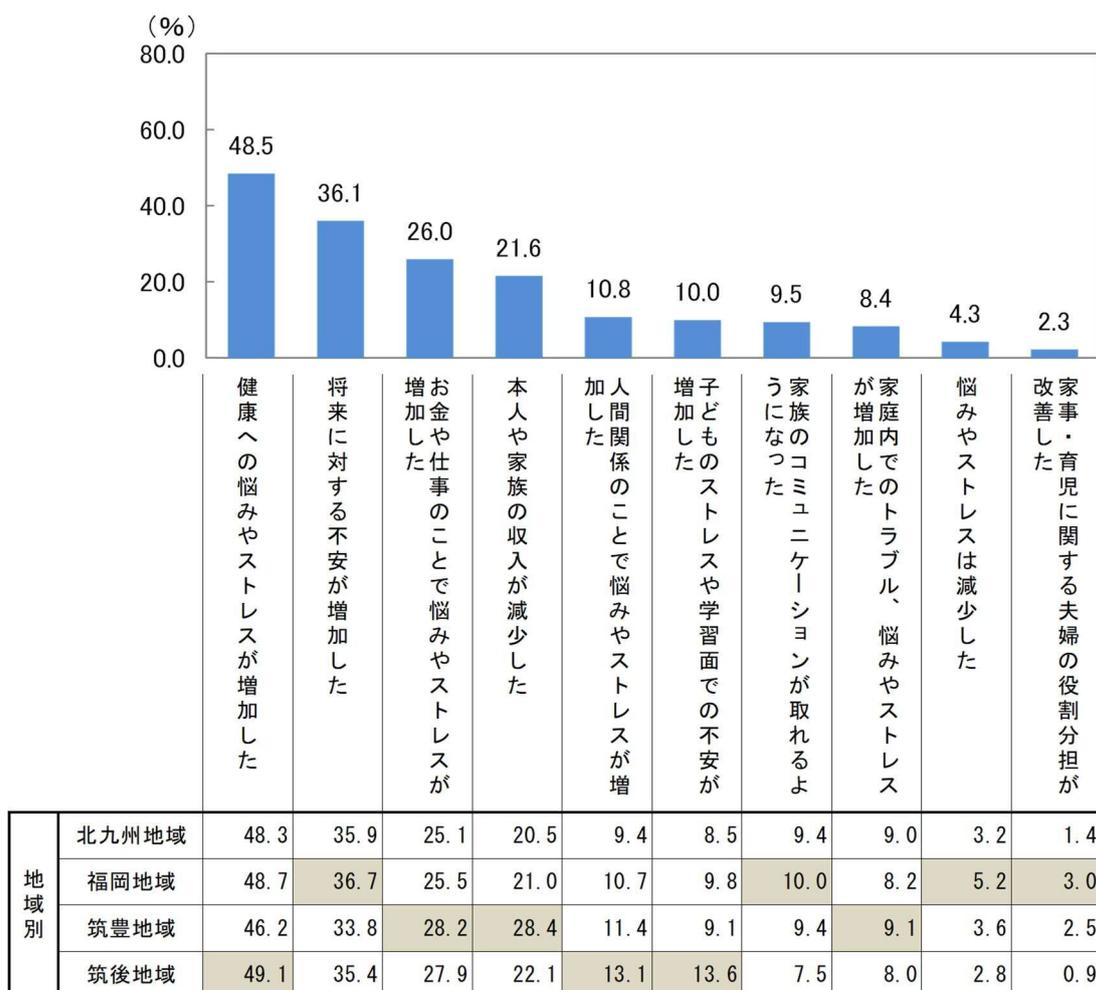
① 本人または家族への影響

【あてはまるもの全て選択可】

新型コロナウイルス感染症の発生前と現在の暮らしの面の変化について、本人または家族への影響を尋ねたところ、県全体では「健康への悩みやストレスが増加した」(48.5%)が最も多く、次いで、「将来に対する不安が増加した」(36.1%)、「お金や仕事のことで悩みやストレスが増加した」(26.0%)、「本人や家族の収入が減少した」(21.6%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「健康への悩みやストレスが増加した」が最も高くなっています。

本人または家族への影響



■ は4地域中で最も高い値の地域

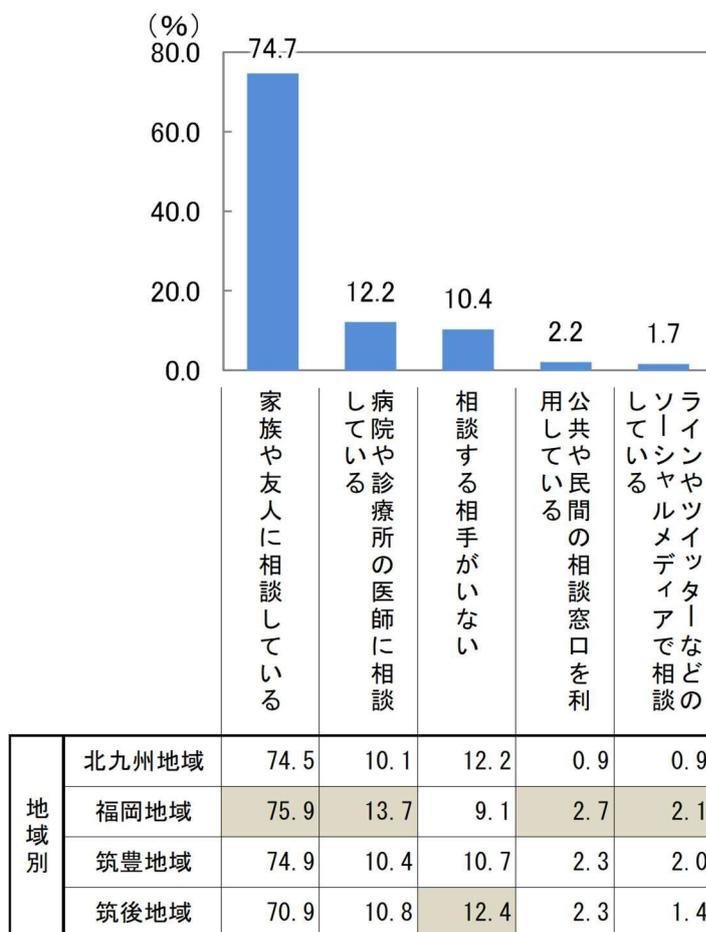
② 悩みやストレスの相談先

【あてはまるもの全て選択可】

新型コロナウイルス感染症の発生前と現在の暮らしの面の変化について、悩みやストレスの相談先を尋ねたところ、県全体では「家族や友人に相談している」(74.7%)が最も高く、次いで、「病院や診療所の医師に相談している」(12.2%)、「相談する相手がいない」(10.4%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「家族や友人に相談している」が最も高くなっています。

悩みやストレスの相談先



■は4地域中で最も高い値の地域

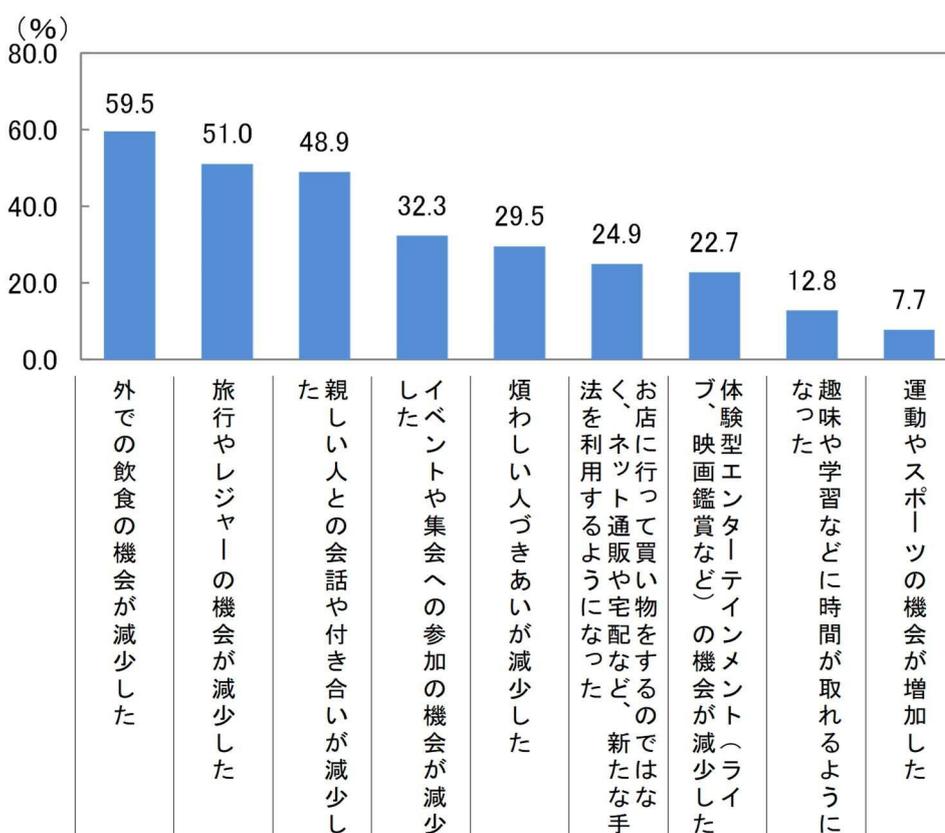
③ 余暇、趣味など日々の暮らしへの影響

【あてはまるもの全て選択可】

新型コロナウイルス感染症の発生前と現在の暮らしの面の変化について、余暇、趣味など日々の暮らしへの影響を尋ねたところ、県全体では「外での飲食の機会が減少した」(59.5%)が最も高く、次いで、「旅行やレジャーの機会が減少した」(51.0%)、「親しい人との会話や付き合いが減少した」(48.9%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「旅行やレジャーの機会が減少した」が他地域と比較して高くなっています。

余暇、趣味など日々の暮らしへの影響



地域別	外での飲食の機会が減少した	旅行やレジャーの機会が減少した	た親しい人との会話や付き合いが減少した	イベントや集会への参加の機会が減少した	煩わしい人づきあいが減少した	法をネット通販や宅配など、新たな手法を利用するようになった	お店に行つて買物をするのではなく、オンラインメンブ、映画鑑賞などの機会が減少した	興味や学習などに時間が取れるようになった	運動やスポーツの機会が増加した
北九州地域	58.9	51.5	49.9	33.1	32.6	23.0	24.4	9.7	6.4
福岡地域	58.8	48.5	47.6	30.3	28.7	27.6	21.2	15.5	8.4
筑豊地域	64.7	52.3	49.2	34.5	27.9	24.9	24.6	11.7	7.9
筑後地域	60.8	58.7	51.9	36.9	27.9	18.5	24.6	8.5	7.3

■は4地域中で最も高い値の地域

(2) 仕事の変化

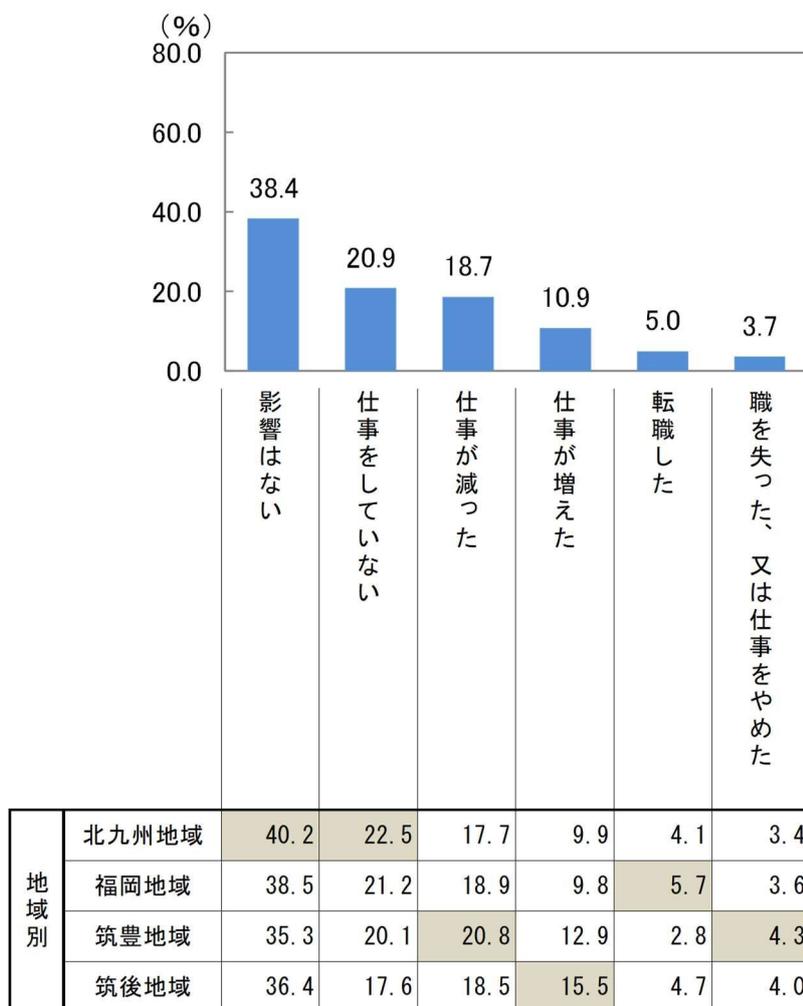
① 仕事への影響

【あてはまるもの全て選択可】

新型コロナウイルス感染症の発生前と現在の仕事の面の変化について、仕事の影響を尋ねたところ、県全体では「影響はない」(38.4%)が最も高く、次いで、「仕事をしていない」(20.9%)、「仕事が減った」(18.7%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「影響はない」が最も高いものの、「仕事をしていない」「仕事が減った」ともに2割前後となっています。

仕事への影響



■ は4地域中で最も高い値の地域

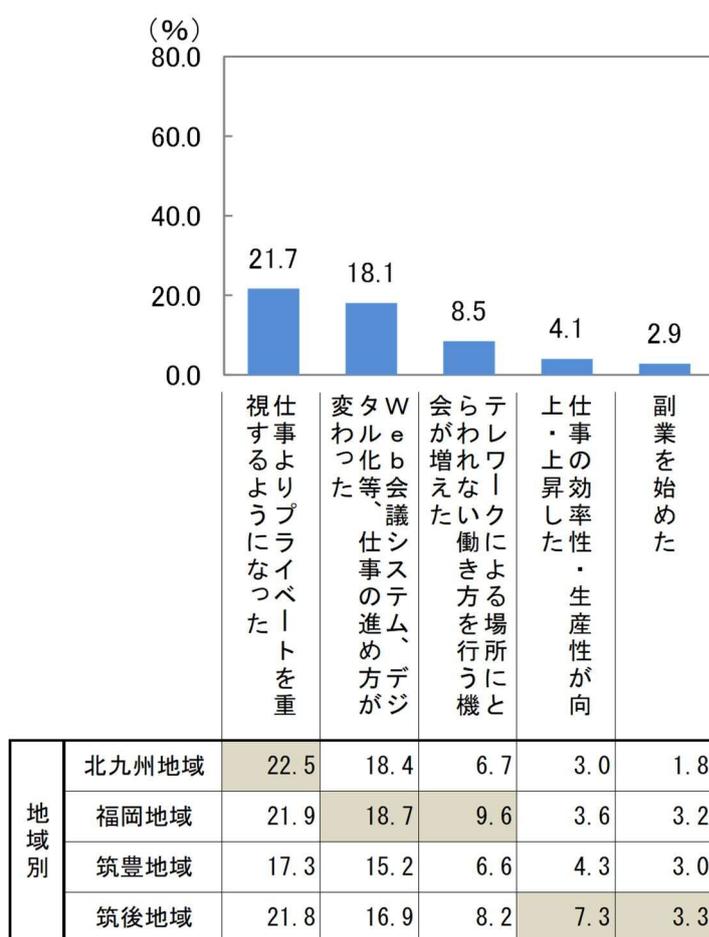
② 働き方への影響

【あてはまるもの全て選択可】

新型コロナウイルス感染症の発生前と現在の仕事の面の変化について、働き方への影響について尋ねたところ、県全体では「仕事よりプライベートを重視するようになった」(21.7%)が最も高く、次いで、「Web 会議システム、デジタル化等、仕事の進め方が変わった」(18.1%)、「テレワークによる場所にとられない働き方を行う機会が増えた」(8.5%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「仕事の効率性・生産性が向上・上昇した」が他地域と比較して高くなっています。

働き方への影響



■ は4地域中で最も高い値の地域

2. 県の施策について

☆ 県政の各分野において、行政に対して力を入れてほしいこと ☆

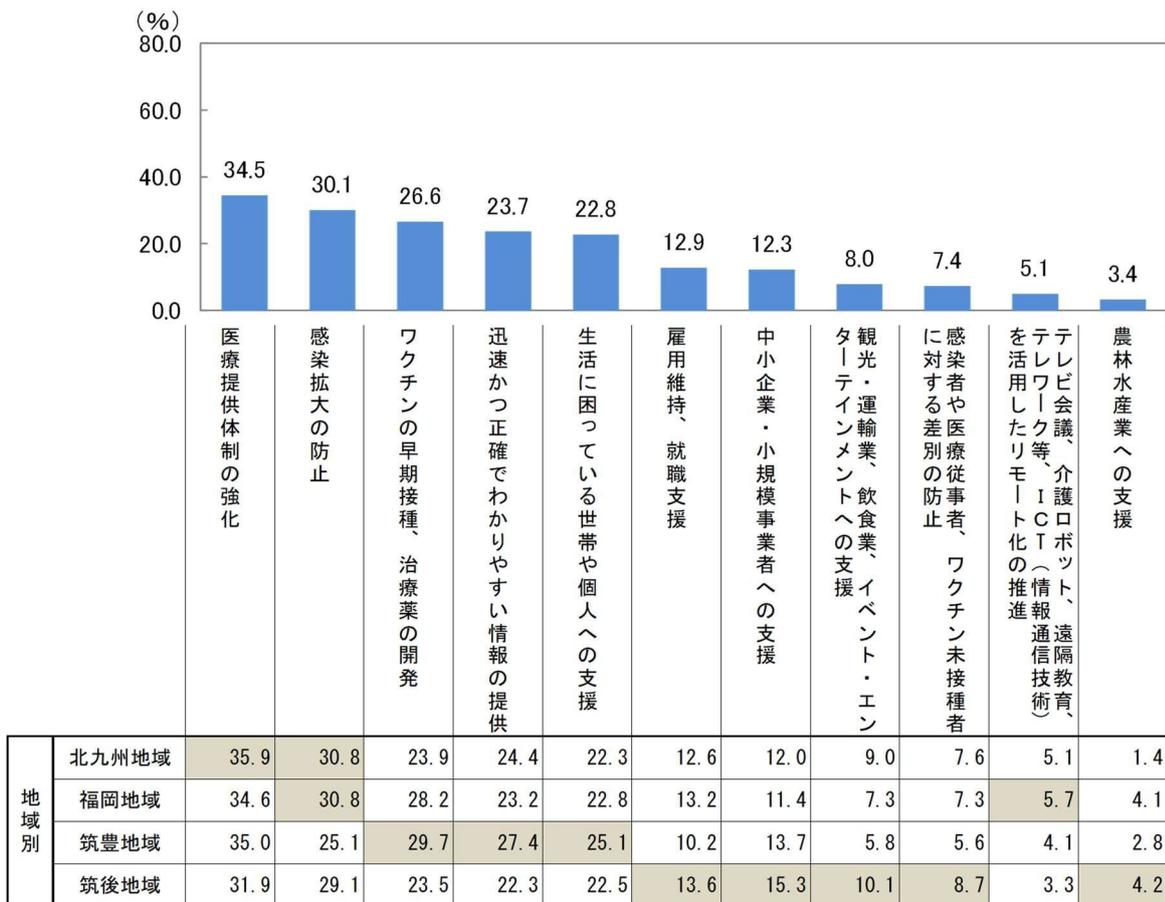
(1) 新型コロナウイルス感染症対策

【あてはまるもの2つ選択可】

新型コロナウイルス感染症対策として、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「医療提供体制の強化」(34.5%)が最も高く、次いで、「感染拡大の防止」(30.1%)、「ワクチンの早期接種、治療薬の開発」(26.6%)、の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「迅速かつ正確でわかりやすい情報の提供」が他地域と比較して高くなっています。

新型コロナウイルス感染症対策



■ は4地域中で最も高い値の地域

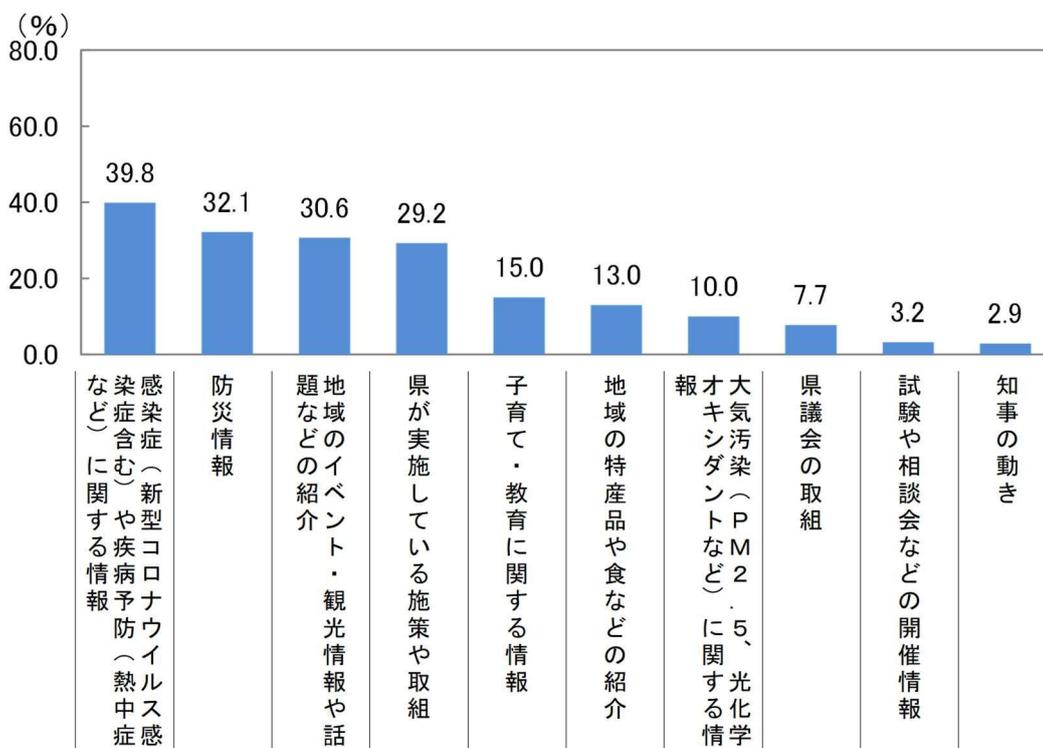
(2) 県の広報

【あてはまるもの2つ選択可】

県から発信してほしい情報について尋ねたところ、県全体では「感染症（新型コロナウイルス感染症含む）や疾病予防（熱中症など）に関する情報」（39.8%）が最も高く、次いで、「防災情報」（32.1%）、「地域のイベント・観光情報や話題などの紹介」（30.6%）、「県が実施している施策や取組」（29.2%）の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「防災情報」が他地域と比較して高くなっています。

県の広報



地域別	感染症（新型コロナウイルス感染症含む）や疾病予防（熱中症など）に関する情報	防災情報	地域のイベント・観光情報や話題などの紹介	県が実施している施策や取組	子育て・教育に関する情報	地域の特産品や食などの紹介	大気汚染（PM2.5、光化学オキシダントなど）に関する情報	県議会の取組	試験や相談会などの開催情報	知事の動き
北九州地域	39.5	29.0	35.4	31.3	15.4	13.1	9.7	3.9	2.3	2.8
福岡地域	41.2	32.6	26.9	27.8	14.8	13.0	10.7	9.3	3.4	3.6
筑豊地域	38.6	30.7	35.8	29.4	17.0	11.4	9.9	8.1	3.3	2.0
筑後地域	35.9	36.4	34.0	31.0	13.8	13.4	7.7	7.3	4.0	1.2

■ は4地域中で最も高い値の地域

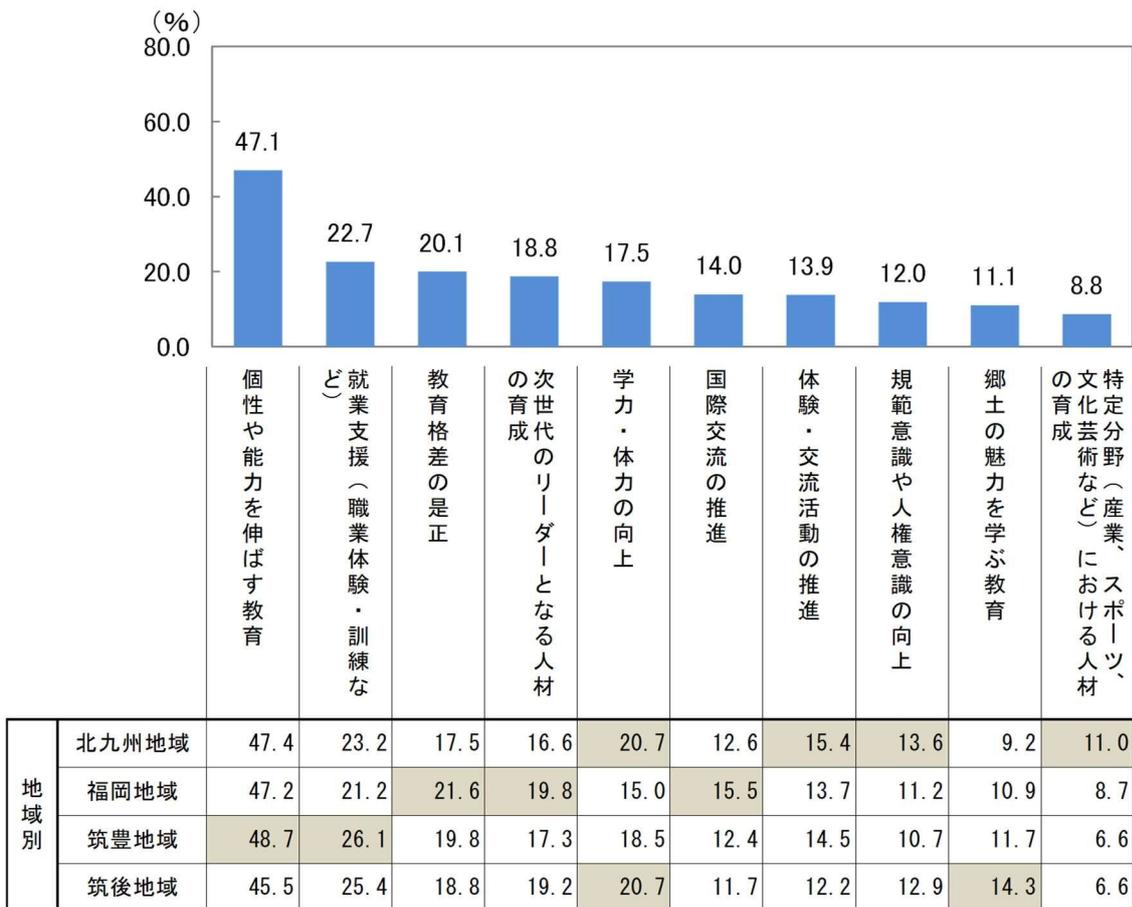
(3) 次代を担う「人財」の育成

【あてはまるもの2つ選択可】

次代を担う「人財」の育成について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「個性や能力を伸ばす教育」(47.1%)が最も高く、次いで、「就業支援(職業体験・訓練など)」(22.7%)、「教育格差の是正」(20.1%)、「次世代のリーダーとなる人材の育成」(18.8%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「国際交流の推進」が他地域と比較して高くなっています。

次代を担う「人財」の育成



■は4地域中で最も高い値の地域

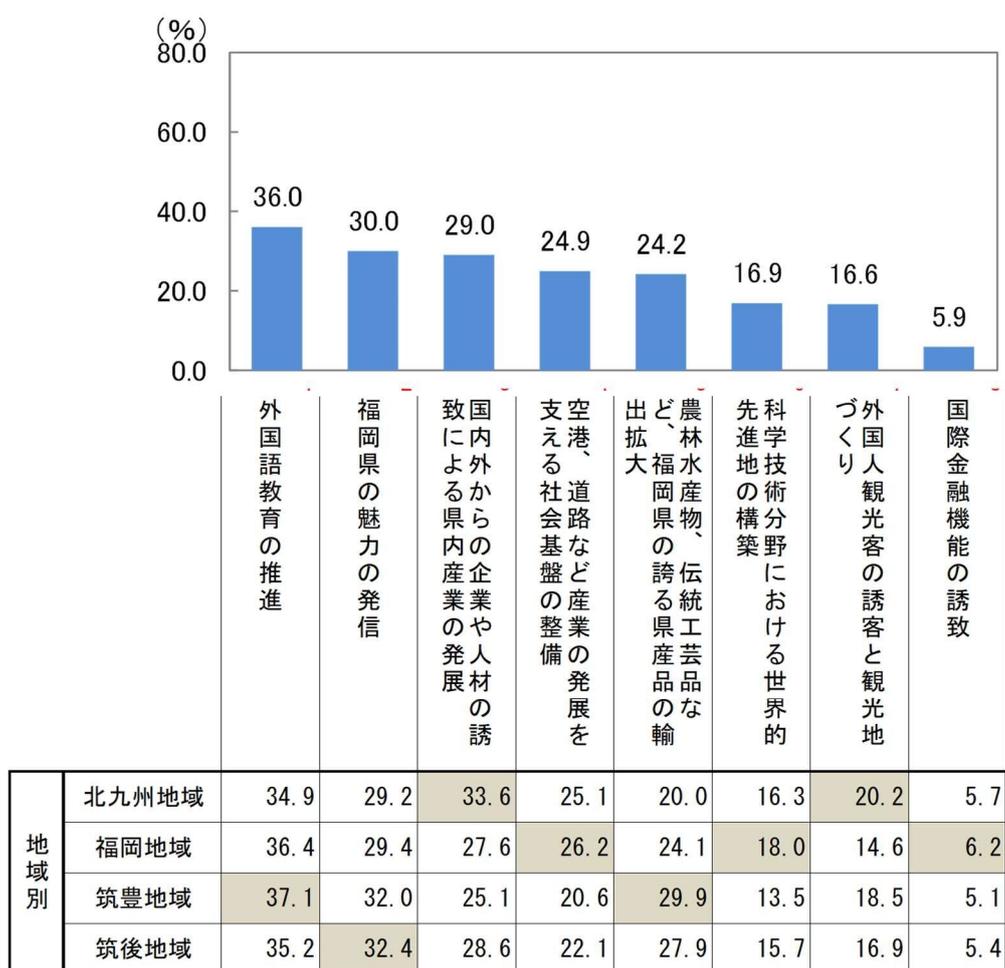
(4) 「世界から選ばれる福岡県」の実現

【あてはまるもの2つ選択可】

「世界から選ばれる福岡県」の実現について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「外国語教育の推進」(36.0%)が最も高く、次いで、「福岡県の魅力の発信」(30.0%)、「国内外からの企業や人材の誘致による県内産業の発展」(29.0%)、「空港、道路など産業の発展を支える社会基盤の整備」(24.9%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「国内外からの企業や人材の誘致による県内産業の発展」が他地域と比較して高くなっています。

「世界から選ばれる福岡県」の実現



■は4地域中で最も高い値の地域

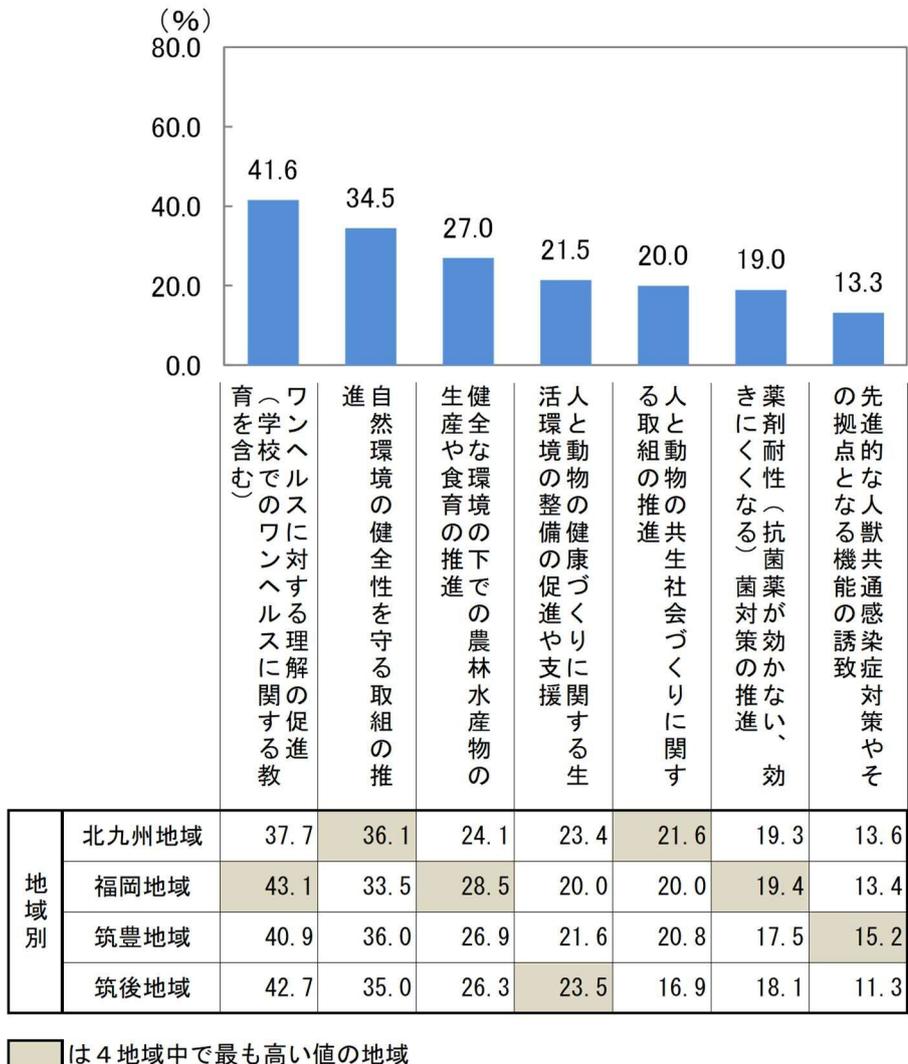
(5) ワンヘルスの推進

【あてはまるもの2つ選択可】

ワンヘルスの推進について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「ワンヘルスに対する理解の促進（学校におけるワンヘルスに関する教育を含む）」（41.6%）が最も高く、次いで、「自然環境の健全性を守る取組の推進」（34.5%）、「健全な環境の下での農林水産物の生産や食育の推進」（27.0%）の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「健全な環境の下での農林水産物の生産や食育の推進」が他地域と比較して高くなっています。

ワンヘルスの推進



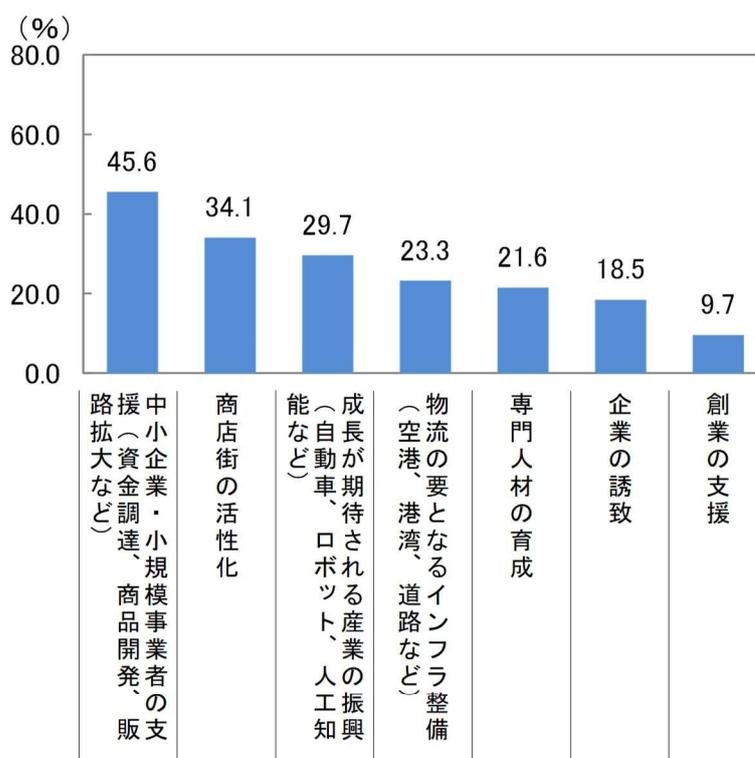
(6) 商工業

【あてはまるもの2つ選択可】

商工業を通じた福岡県経済の発展について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「中小企業・小規模事業者の支援（資金調達、商品開発、販路拡大など）」（45.6%）が最も高く、次いで、「商店街の活性化」（34.1%）、「成長が期待される産業の振興（自動車、ロボット、人工知能など）」（29.7%）、の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「成長が期待される産業の振興（自動車、ロボット、人工知能など）」が他地域と比較して高くなっています。

商工業



地域別	路援中 (資金調達、商品開発、販路拡大など)	店小 (商店街の活性化)	能成 (成長が期待される産業の振興)	物流 (物流の要となるインフラ整備)	専門 (専門人材の育成)	企業 (企業の誘致)	創業 (創業の支援)
北九州地域	43.2	40.5	34.0	18.4	19.3	20.7	7.4
福岡地域	46.5	31.2	28.5	26.2	22.6	15.9	10.7
筑豊地域	44.9	36.0	29.2	19.0	23.1	21.1	9.6
筑後地域	46.7	33.3	27.5	23.0	21.1	22.8	9.6

■ は4地域中で最も高い値の地域

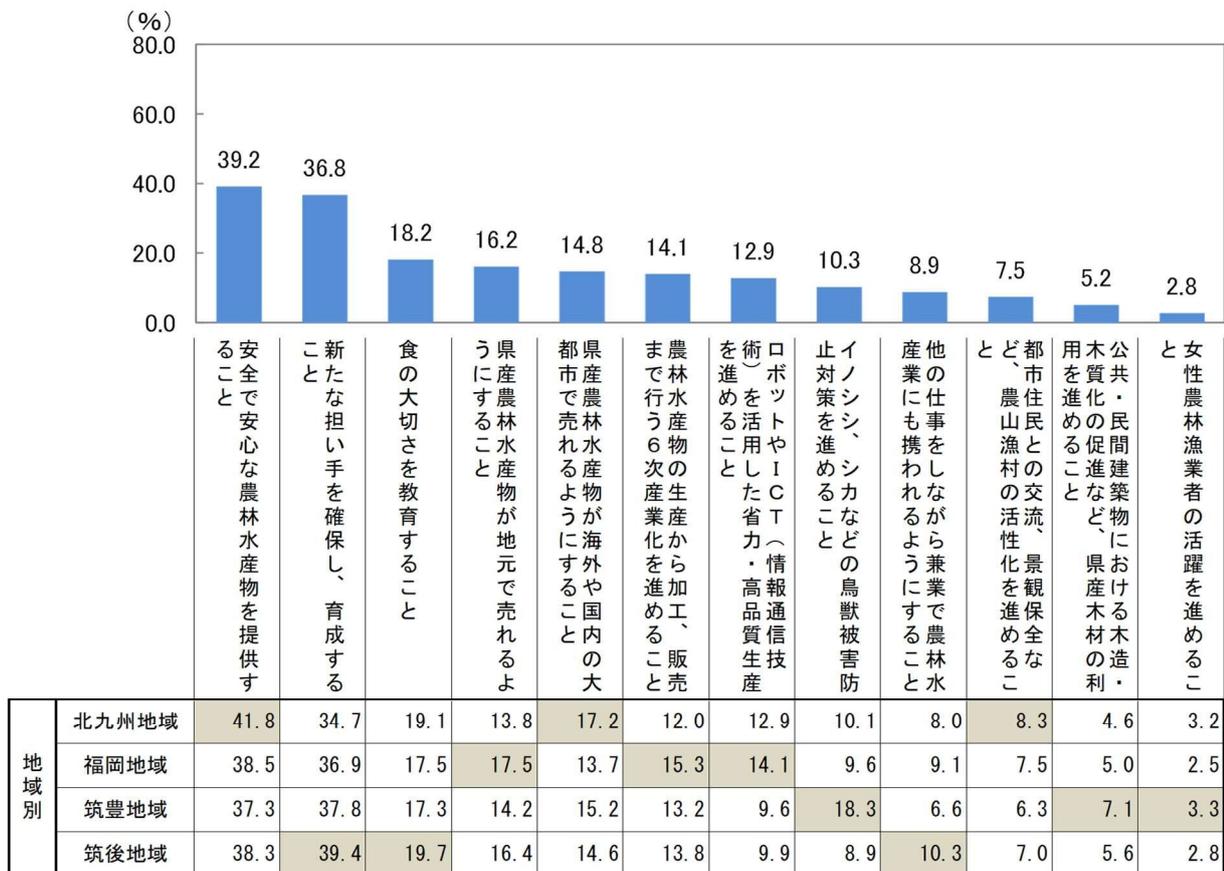
(7) 農林水産業

【あてはまるもの2つ選択可】

福岡県の農林水産業発展について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「安全で安心な農林水産物を提供すること」(39.2%)が最も高く、次いで、「新たな担い手を確保し、育成すること」(36.8%)、「食の大切さを教育すること」(18.2%)の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「イノシシ、シカなどの鳥獣被害防止対策を進めること」、北九州地域では「安全で安心な農林水産物を提供すること」が他地域と比較して高くなっています。

農林水産業



■は4地域中で最も高い値の地域

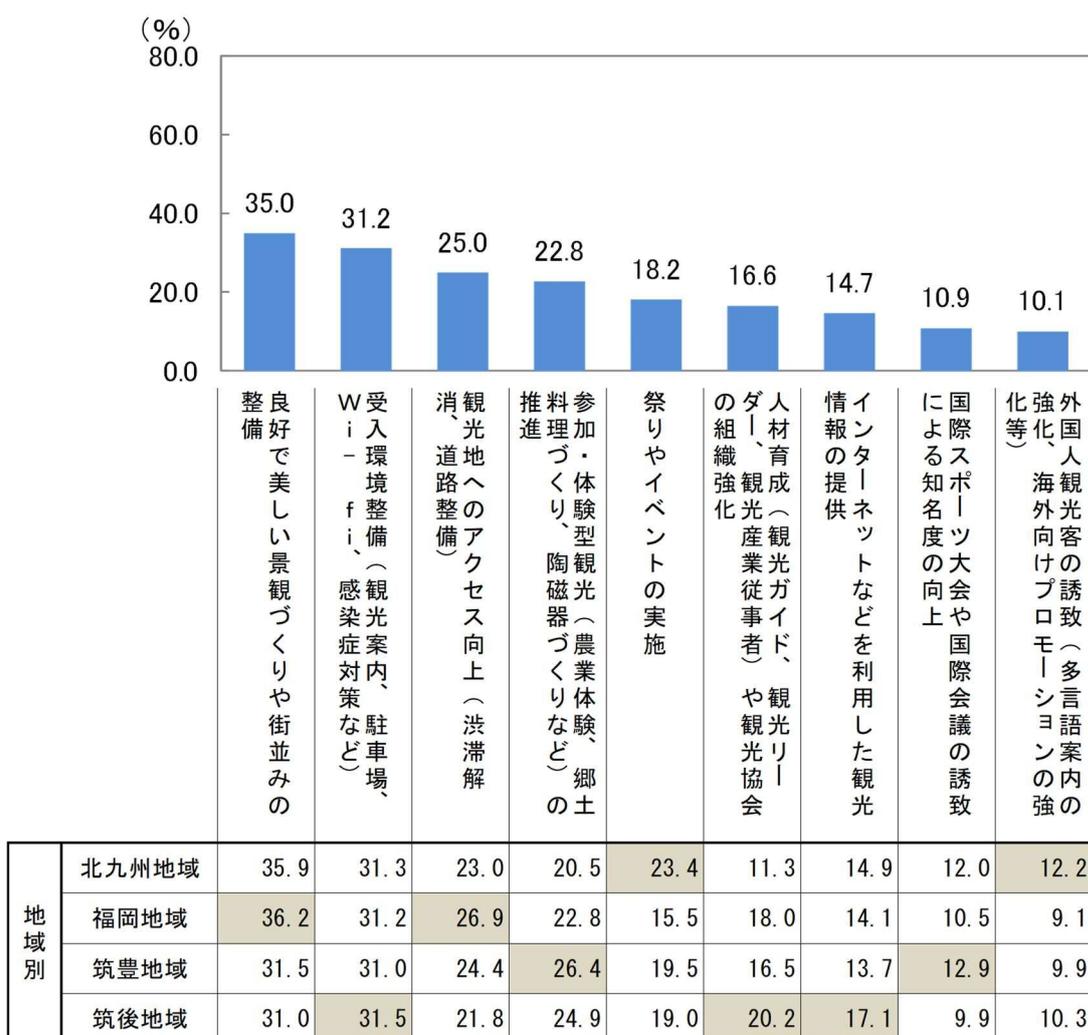
(8) 観光

【あてはまるもの2つ選択可】

観光客誘致について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「良好で美しい景観づくりや街並みの整備」(35.0%)が最も高く、次いで、「受入環境の整備(観光案内、駐車場、Wi-fi、感染症対策など)」(31.2%)、「観光地へのアクセス向上(渋滞解消、道路整備)」(25.0%)、「参加・体験型観光(農業体験、郷土料理づくり、陶磁器づくりなど)の推進」(22.8%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「祭りやイベントの実施」が他地域と比較して高くなっています。

観光



■は4地域中で最も高い値の地域

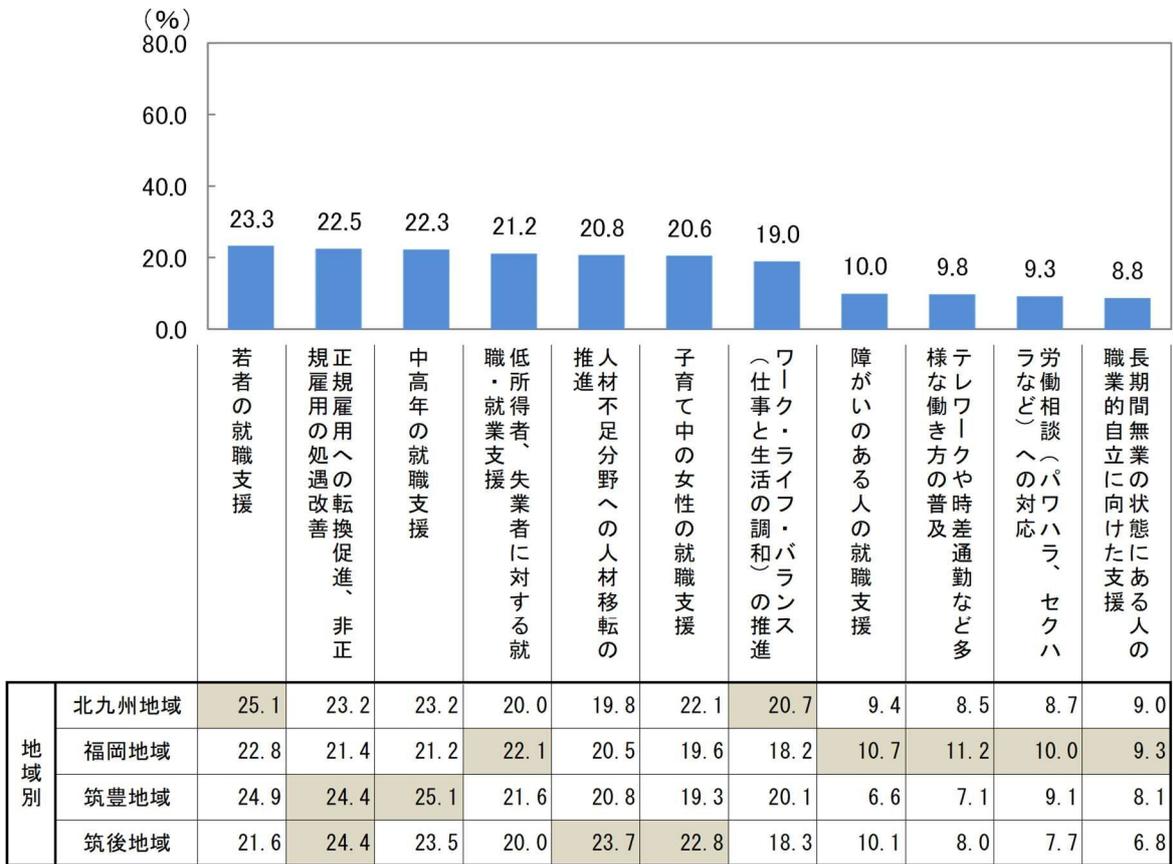
(9) 雇用、働き方

【あてはまるもの2つ選択可】

雇用対策について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「若者の就職支援」(23.3%)が最も高く、次いで、「正規雇用への転換促進、非正規雇用の処遇改善」(22.5%)、「中高年の就職支援」(22.3%)、「低所得者、失業者に対する就職・就業支援」(21.2%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「人材不足分野への人材移転の推進」が他地域と比較して高くなっています。

雇用、働き方



■は4地域中で最も高い値の地域

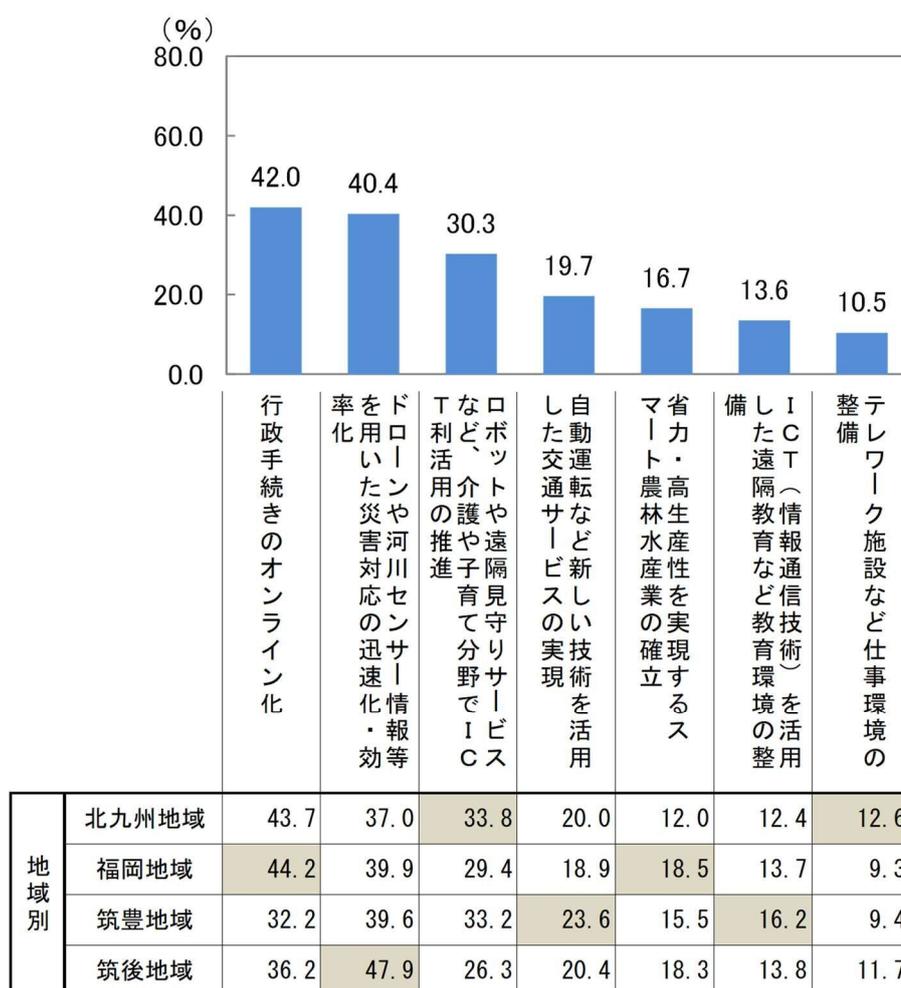
(10) デジタル化

【あてはまるもの2つ選択可】

デジタル化について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「行政手続きのオンライン化」(42.0%)が最も高く、次いで、「ドローンや河川のセンサー情報等を用いた災害対応の迅速化・効率化」(40.4%)、「ロボットや遠隔見守りサービスなど、介護や子育て分野でのICT利活用の推進」(30.3%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「ドローンや河川のセンサー情報等を用いた災害対応の迅速化・効率化」が他地域と比較して高くなっています。

デジタル化



■ は4地域中で最も高い値の地域

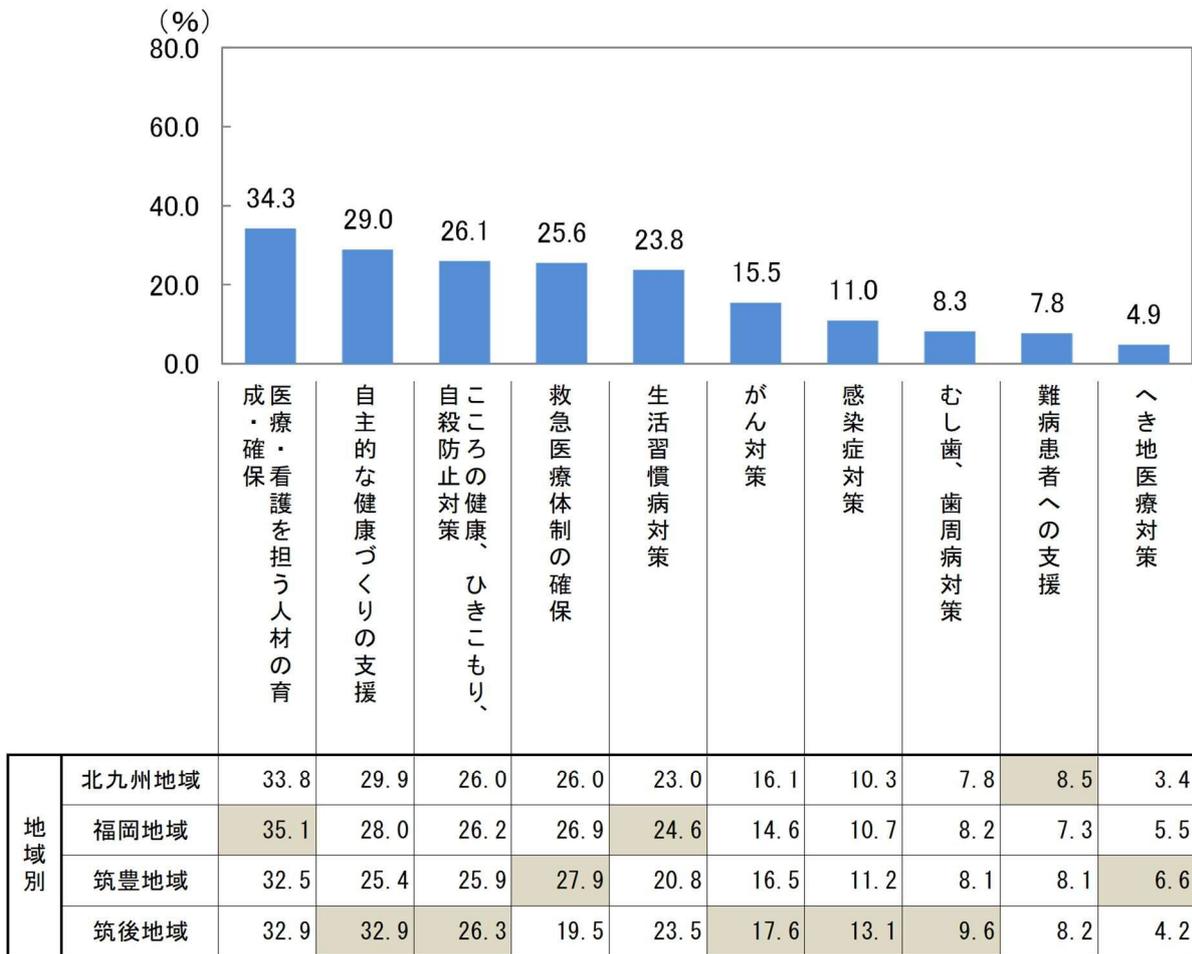
(11) 保健・医療

【あてはまるもの2つ選択可】

健康で長生きすることができる社会づくりについて、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「医療・看護を担う人材の育成・確保」(34.3%)が最も高く、次いで、「自主的な健康づくりの支援」(29.0%)、「こころの健康、ひきこもり、自殺防止対策」(26.1%)、「救急医療体制の確保」(25.6%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「自主的な健康づくりの支援」が他地域と比較して高くなっています。

保健・医療



■ は4地域中で最も高い値の地域

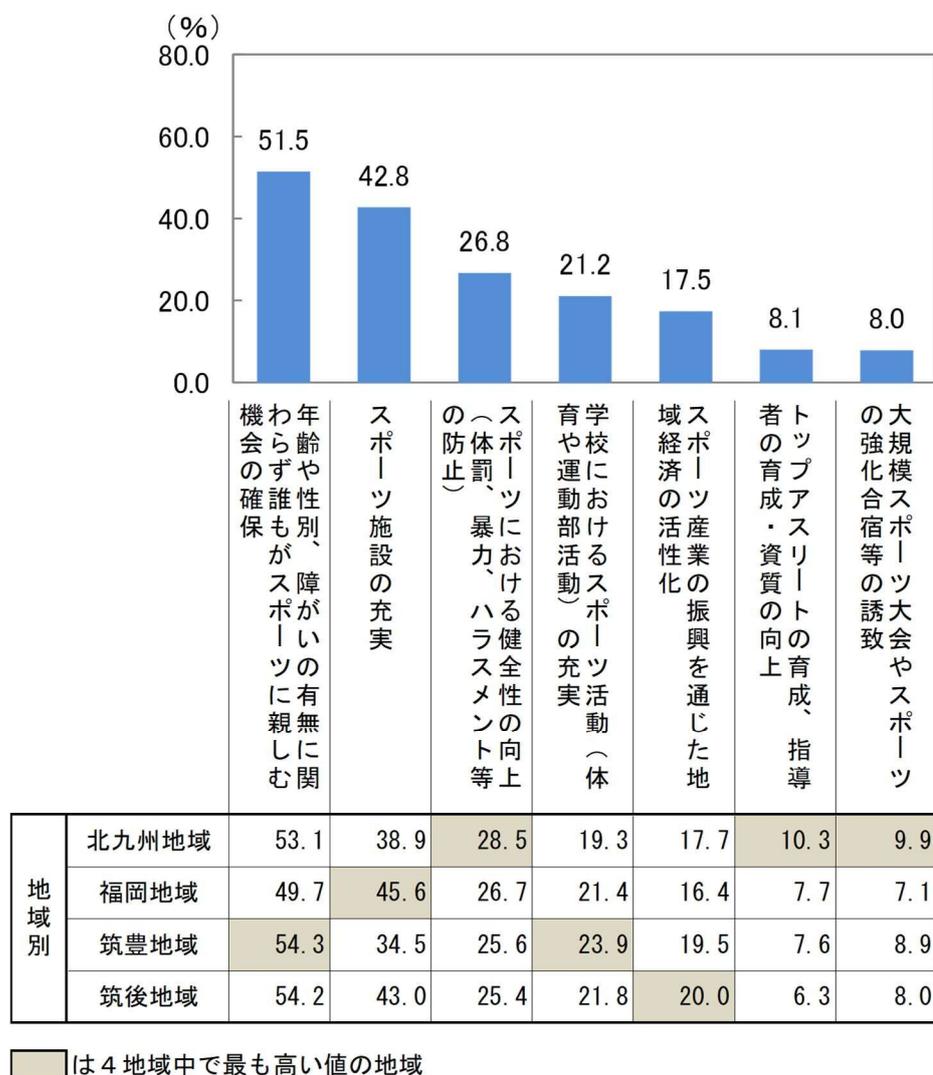
(12) スポーツ

【あてはまるもの2つ選択可】

スポーツの推進について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保」(51.5%)が最も高く、次いで、「スポーツ施設の充実」(42.8%)、「スポーツにおける健全性の向上(体罰、暴力、ハラスメント等の防止)」(26.8%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保」が最も高くなっています。

スポーツ



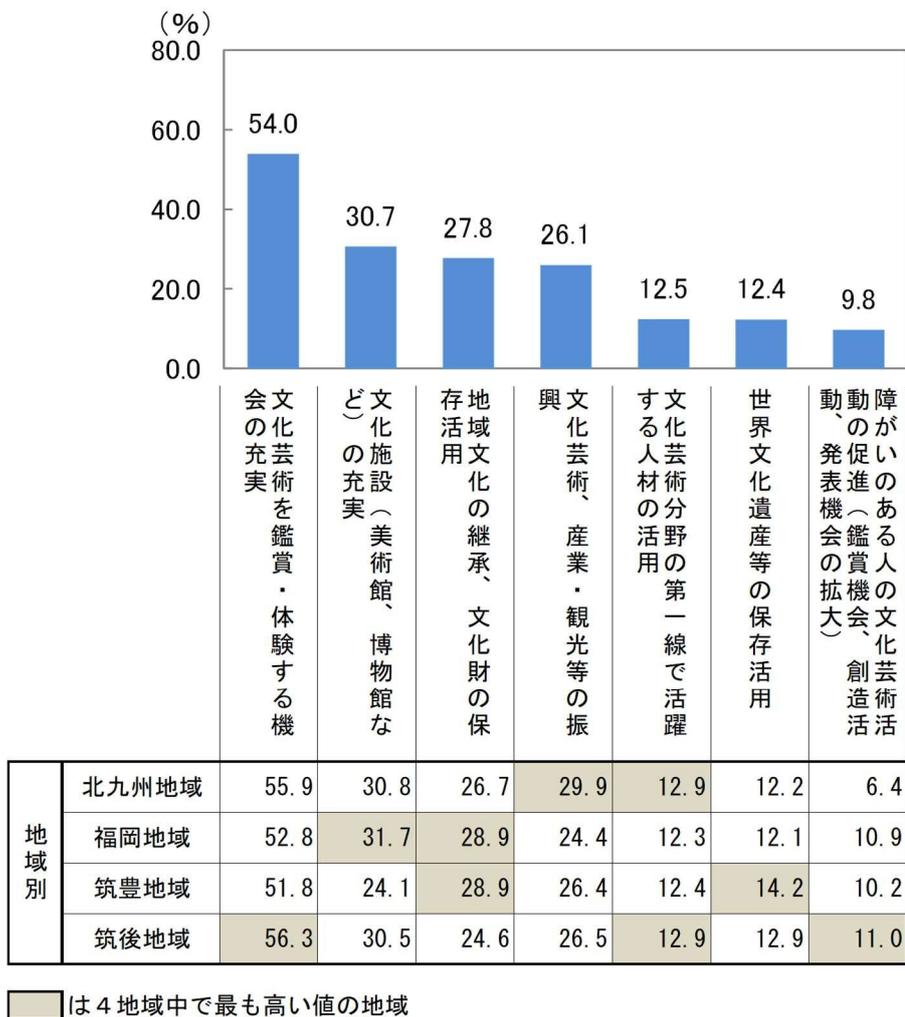
(13) 文化

【あてはまるもの2つ選択可】

文化活動について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」(54.0%)が最も高く、次いで、「文化施設(美術館、博物館など)の充実」(30.7%)、「地域文化の継承、文化財の保存活用」(27.8%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」が最も高く、北九州地域では「文化芸術、産業・観光等の振興」が他地域と比較して高くなっています。

文 化



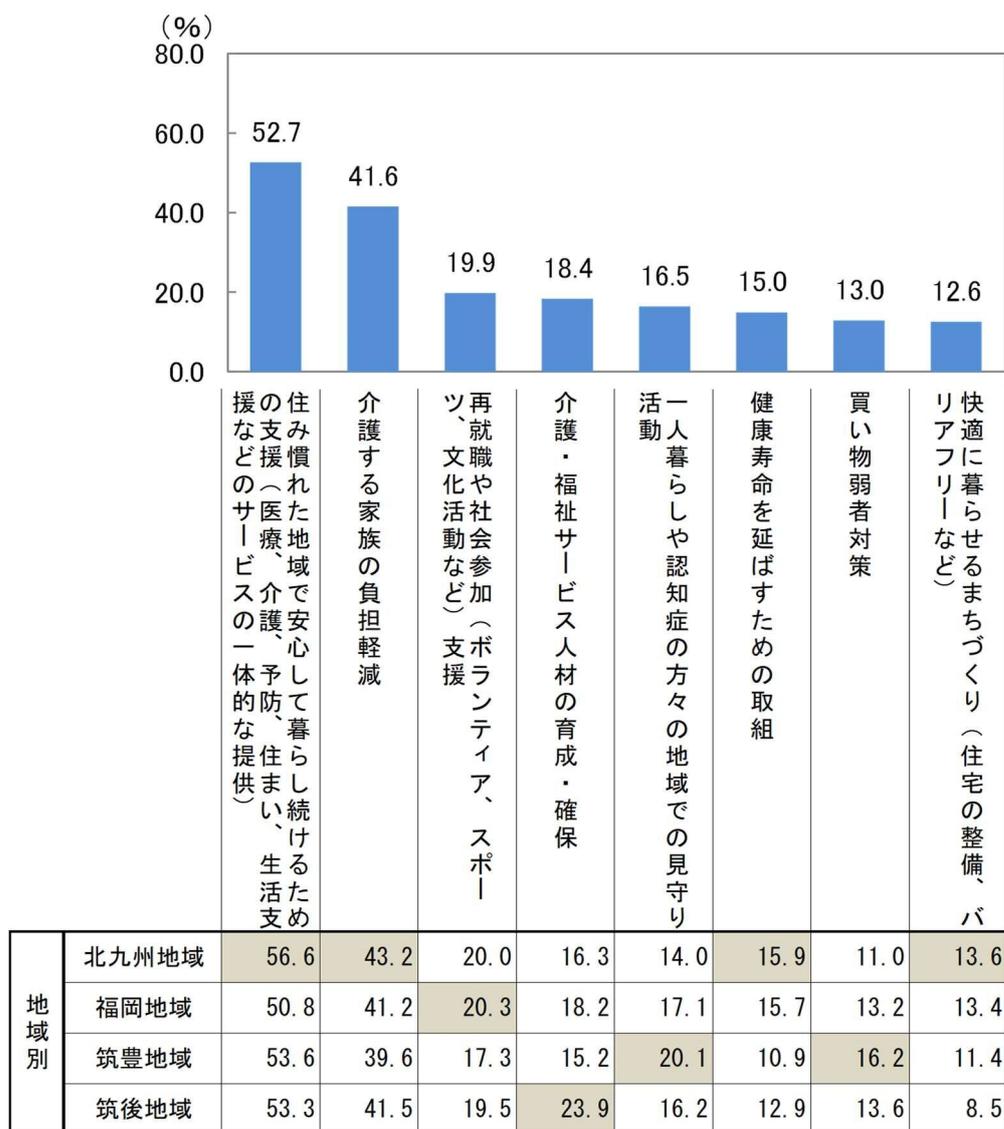
(14) 高齢者

【あてはまるもの2つ選択可】

高齢者が安心して生活できる社会づくりについて、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援（医療、介護、予防、住まい、生活支援などのサービスの一体的な提供）」（52.7%）が最も高く、次いで、「介護する家族の負担軽減」（41.6%）、「再就職や社会参加（ボランティア、スポーツ、文化活動など）の支援」（19.9%）の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援（医療、介護、予防、住まい、生活支援などのサービスの一体的な提供）」が最も高く、筑後地域では「介護・福祉サービス人材の育成・確保」が他地域と比較して高くなっています。

高齢者



■は4地域中で最も高い値の地域

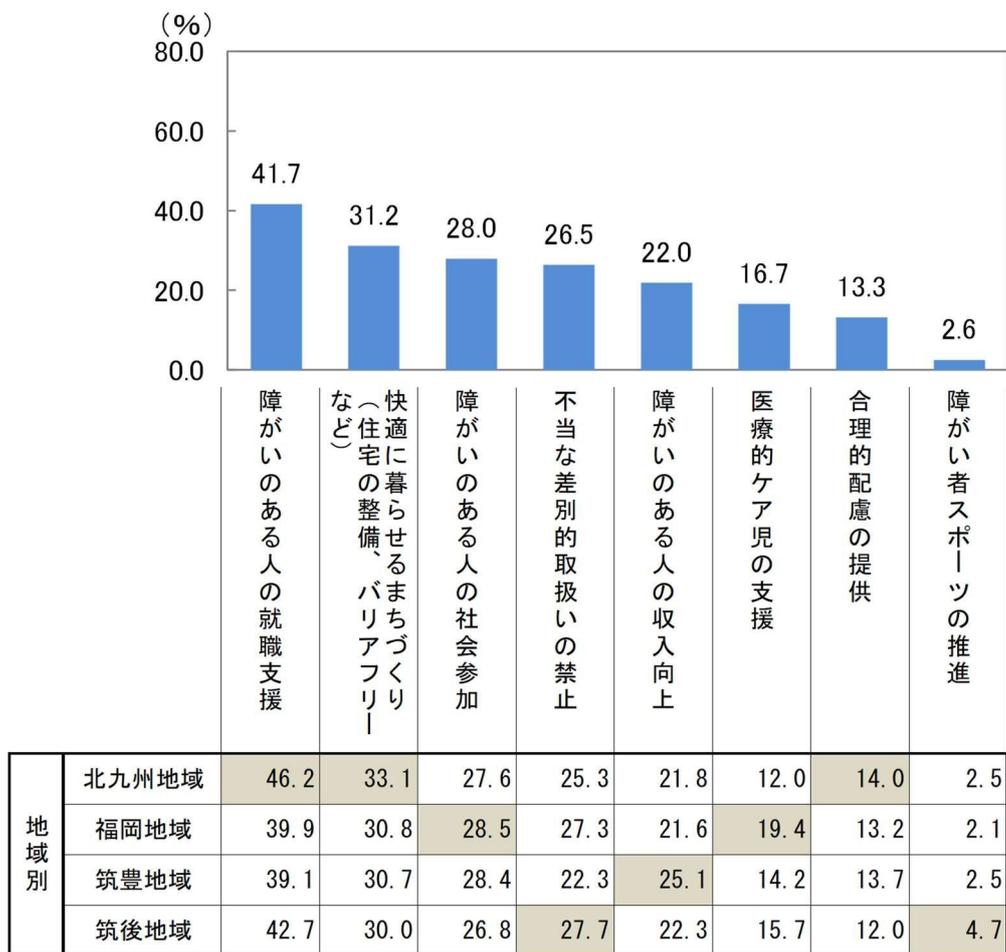
(15) 障がいのある人

【あてはまるもの2つ選択可】

高齢者が安心して生活できる社会づくりについて、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「障がいのある人の就職支援」(41.7%)が最も高く、次いで、「快適に暮らせるまちづくり(住宅の整備、バリアフリーなど)」(31.2%)、「障がいのある人の社会参加」(28.0%)、「不当な差別的取扱いの禁止」(26.5%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「医療的ケア児の支援」が他地域と比較して高くなっています。

障がいのある人



■ は4地域中で最も高い値の地域

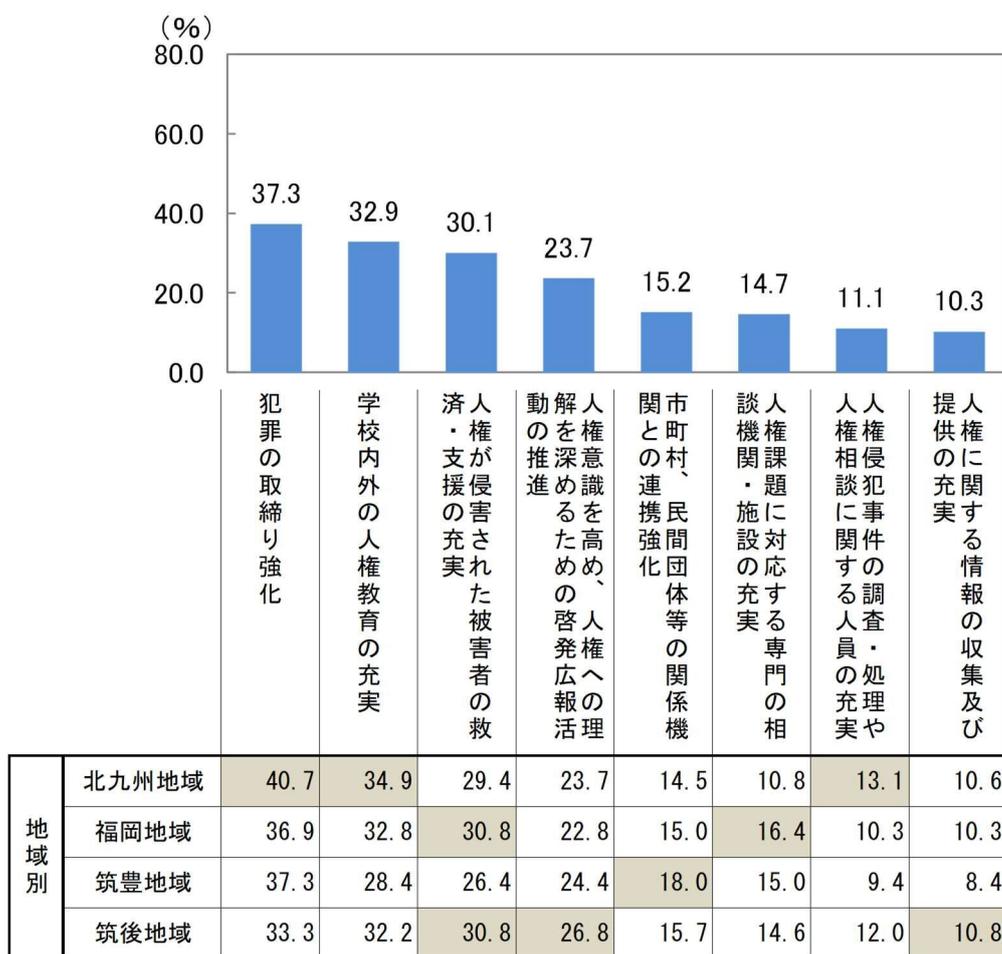
(16) 人権

【あてはまるもの2つ選択可】

人権課題の解決について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「犯罪の取締り強化」(37.3%)が最も高く、次いで、「学校内外の人権教育の充実」(32.9%)、「人権が侵害された被害者の救済・支援の充実」(30.1%)、「人権意識を高め、人権への理解を深めるための啓発広報活動の推進」(23.7%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「犯罪の取締り強化」が他地域と比較して高くなっています。

人 権



■は4地域中で最も高い値の地域

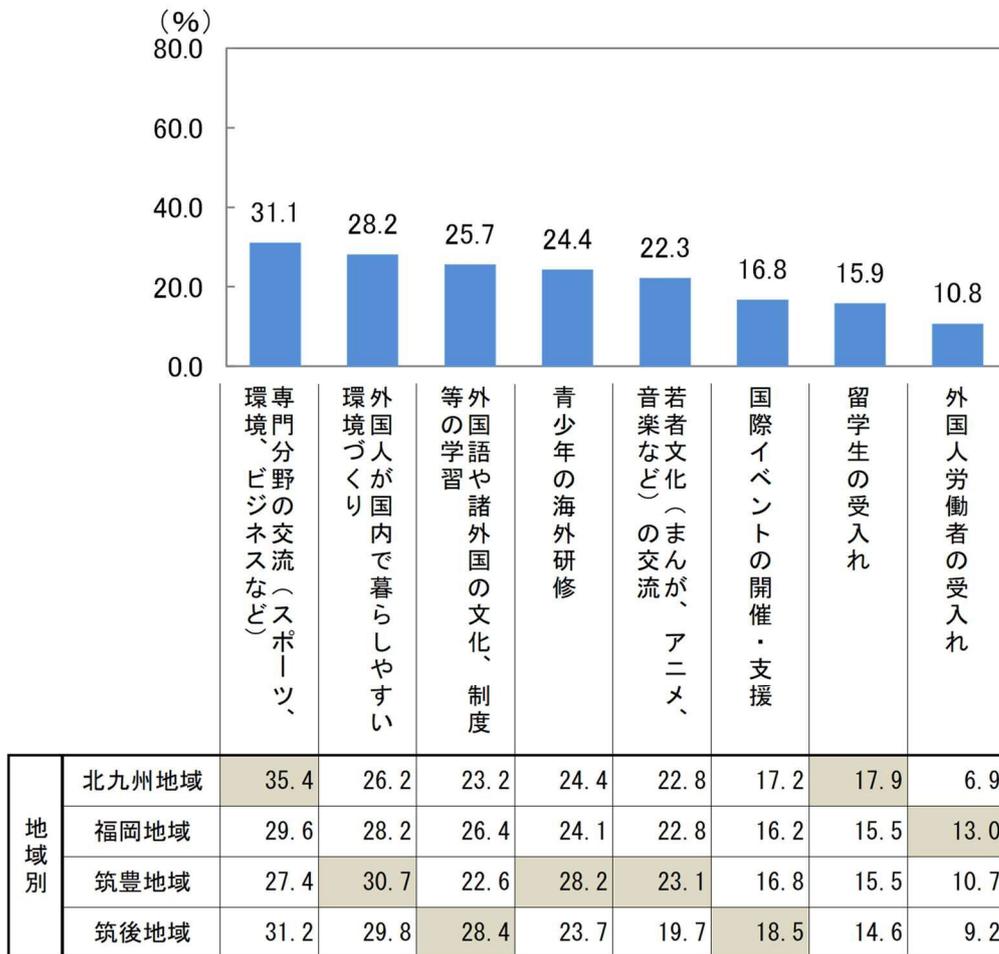
(17) 国際交流

【あてはまるもの2つ選択可】

国際交流の推進や外国人との相互理解の促進について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「専門分野の交流（スポーツ、環境、ビジネスなど）」（31.1%）が最も高く、次いで、「外国人が国内で暮らしやすい環境づくり」（28.2%）、「外国語や諸外国の文化、制度等の学習」（25.7%）、「青少年の海外研修」（24.4%）の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「専門分野の交流（スポーツ、環境、ビジネスなど）」が他地域と比較して高くなっています。

国際交流



■は4地域中で最も高い値の地域

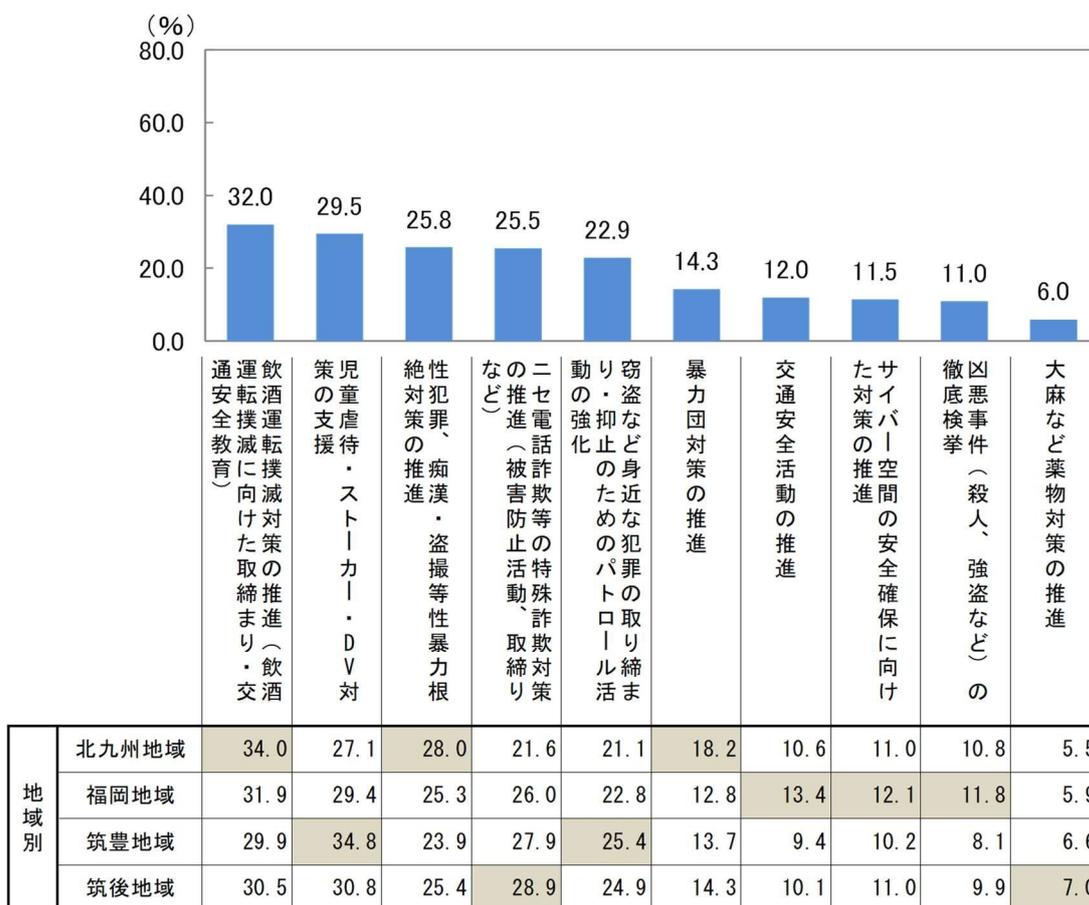
(18) 防犯・交通安全

【あてはまるもの2つ選択可】

犯罪や事故のない社会づくりについて、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「飲酒運転撲滅対策の推進（飲酒運転撲滅に向けた取締り・交通安全教育など）」（32.0%）が最も高く、次いで、「児童虐待・ストーカー・DV対策の推進」（29.5%）、「性犯罪、痴漢・盗撮等性暴力根絶対策の推進」（25.8%）、「ニセ電話詐欺等の特殊詐欺対策の推進（被害防止活動、取締りなど）」（25.5%）の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「児童虐待・ストーカー・DV対策の推進」が他地域と比較して高くなっています。

防犯・交通安全



■は4地域中で最も高い値の地域

地域別	北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
飲酒運転撲滅対策の推進	34.0	31.9	29.9	30.5
児童虐待・ストーカー・DV対策の推進	27.1	29.4	34.8	30.8
性犯罪、痴漢・盗撮等性暴力根絶対策の推進	28.0	25.3	23.9	25.4
ニセ電話詐欺等の特殊詐欺対策の推進	21.6	26.0	27.9	28.9
窃盗・強盗などの身近な犯罪の取り締まり強化	21.1	22.8	25.4	24.9
暴力団対策の推進	18.2	12.8	13.7	14.3
交通安全活動の推進	10.6	13.4	9.4	10.1
サイバー空間の安全確保に向けた対策の推進	11.0	12.1	10.2	11.0
凶悪事件（殺人、強盗など）の徹底検挙	10.8	11.8	8.1	9.9
大麻など薬物対策の推進	5.5	5.9	6.6	7.0

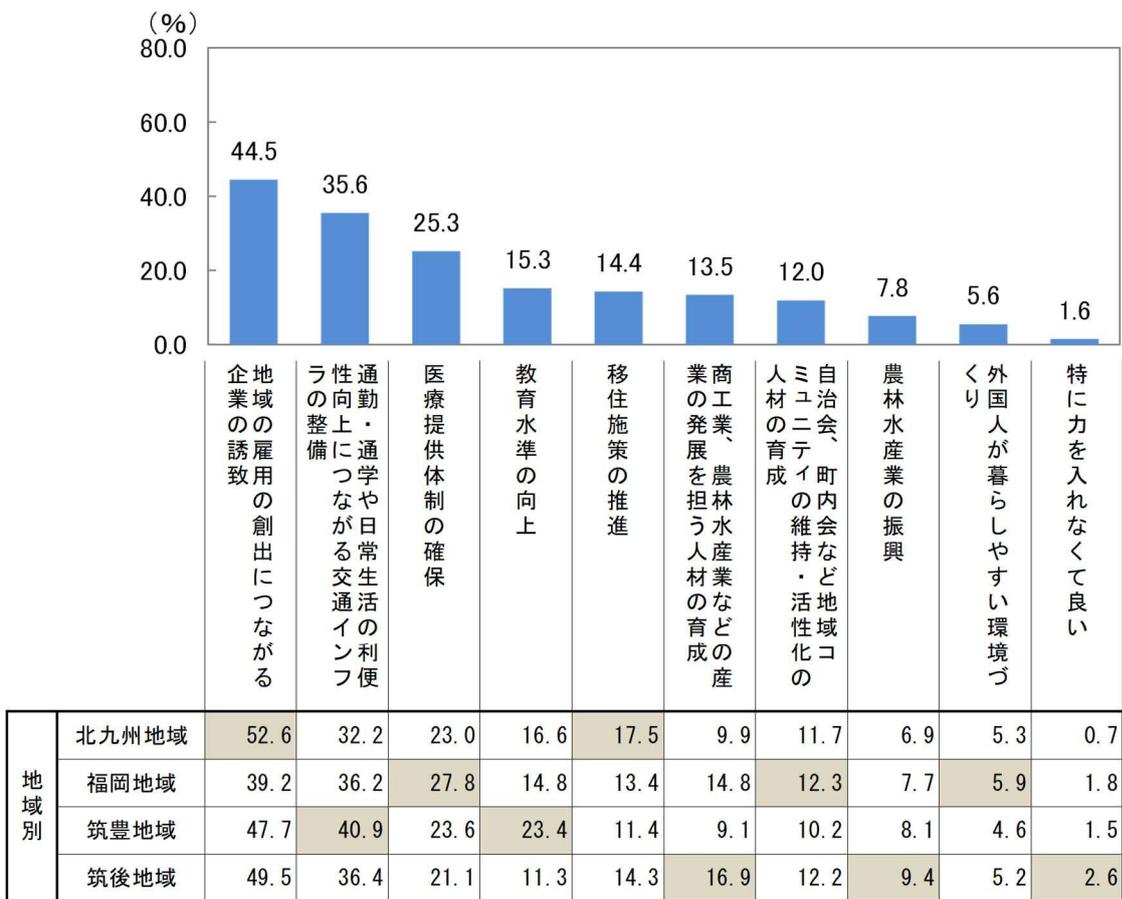
(19) 地域振興

【あてはまるもの2つ選択可】

地域振興について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「地域の雇用の創出につながる企業の誘致」(44.5%)が最も高く、次いで、「通勤・通学や日常生活の利便性向上につながる交通インフラの整備」(35.6%)、「医療提供体制の確保」(25.3%)の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「教育水準の向上」が他地域と比較して高くなっています。

地域振興



■ は4地域中で最も高い値の地域

(20) 移住・定住、企業誘致

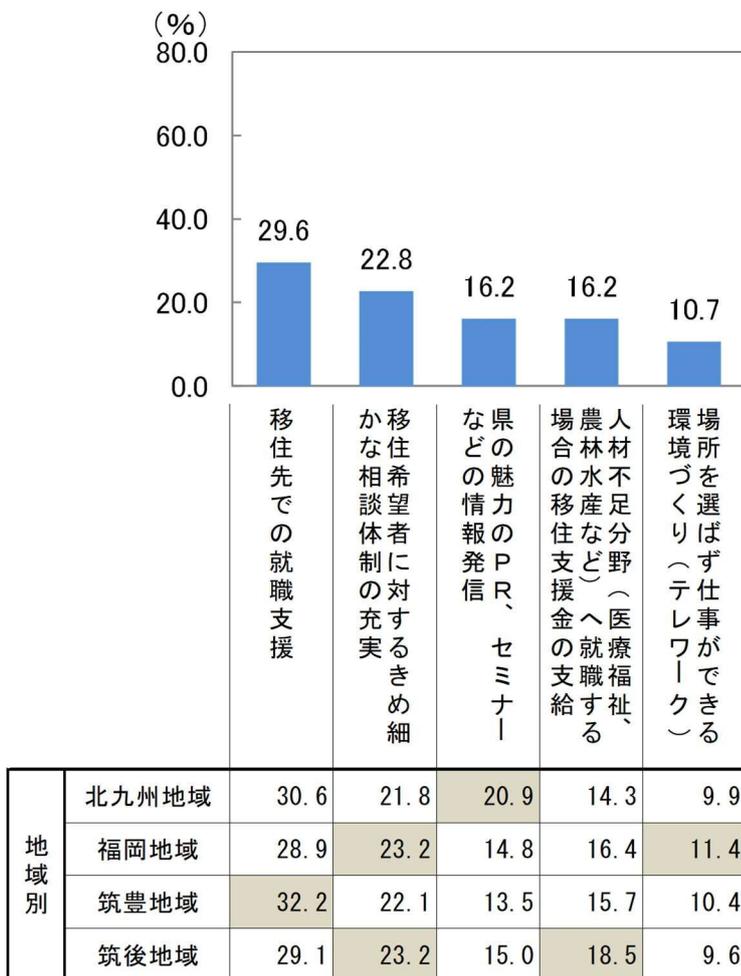
① 移住・定住

【あてはまるもの2つ選択可】

移住・定住について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「移住先での就職支援」(29.6%)が最も高く、次いで、「移住希望者に対するきめ細かな相談体制の充実」(22.8%)、「県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信」(16.2%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域で「県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信」が最も高くなっています。

移住・定住



■ は4地域中で最も高い値の地域

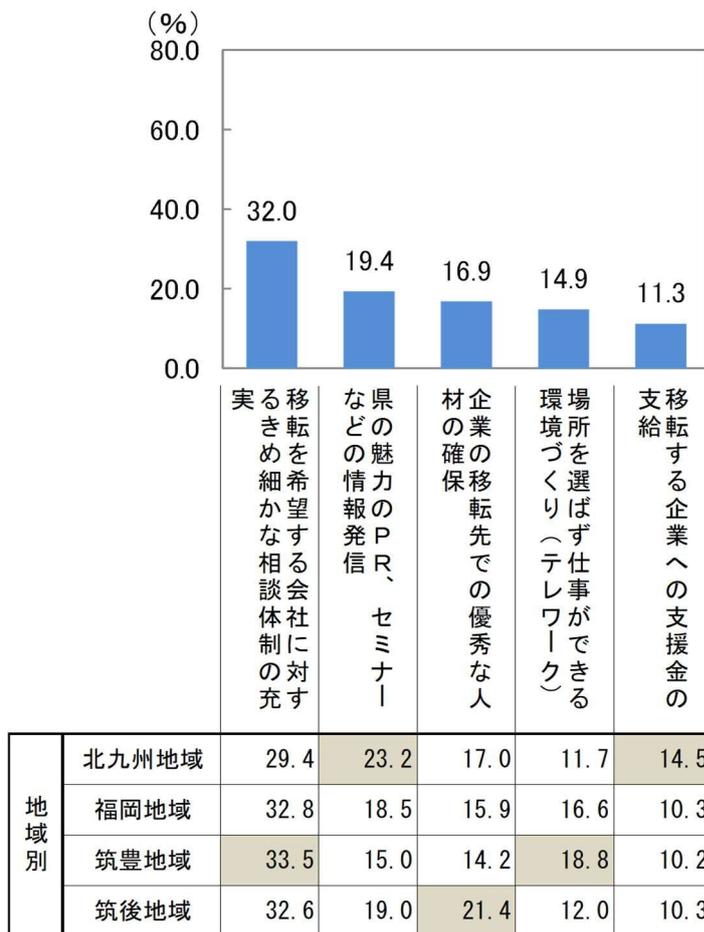
② 企業誘致

【あてはまるもの2つ選択可】

企業誘致について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「移転を希望する会社に対するきめ細かな相談体制の充実」(32.0%)が最も高く、次いで、「県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信」(19.4%)、「企業の移転先での優秀な人材の確保」(16.9%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域で「企業の移転先での優秀な人材の確保」が最も高くなっています。

企業誘致



■は4地域中で最も高い値の地域

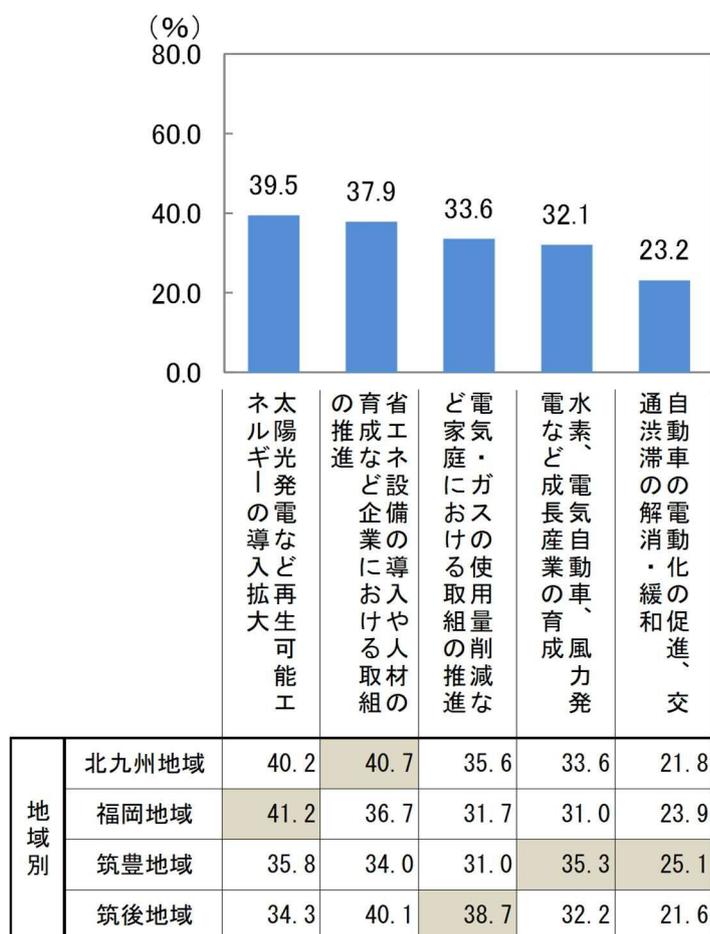
(21) グリーン社会

【あてはまるもの2つ選択可】

温室効果ガスの排出削減について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「太陽光発電など再生可能エネルギーの導入拡大」(39.5%)が最も高く、次いで、「省エネ設備の導入や人材の育成など企業における取組の推進」(37.9%)、「電気・ガスの使用量削減など家庭における取組の推進」(33.6%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域で「電気・ガスの使用量削減など家庭における取組の推進」が最も高くなっています。

グリーン社会



■は4地域中で最も高い値の地域

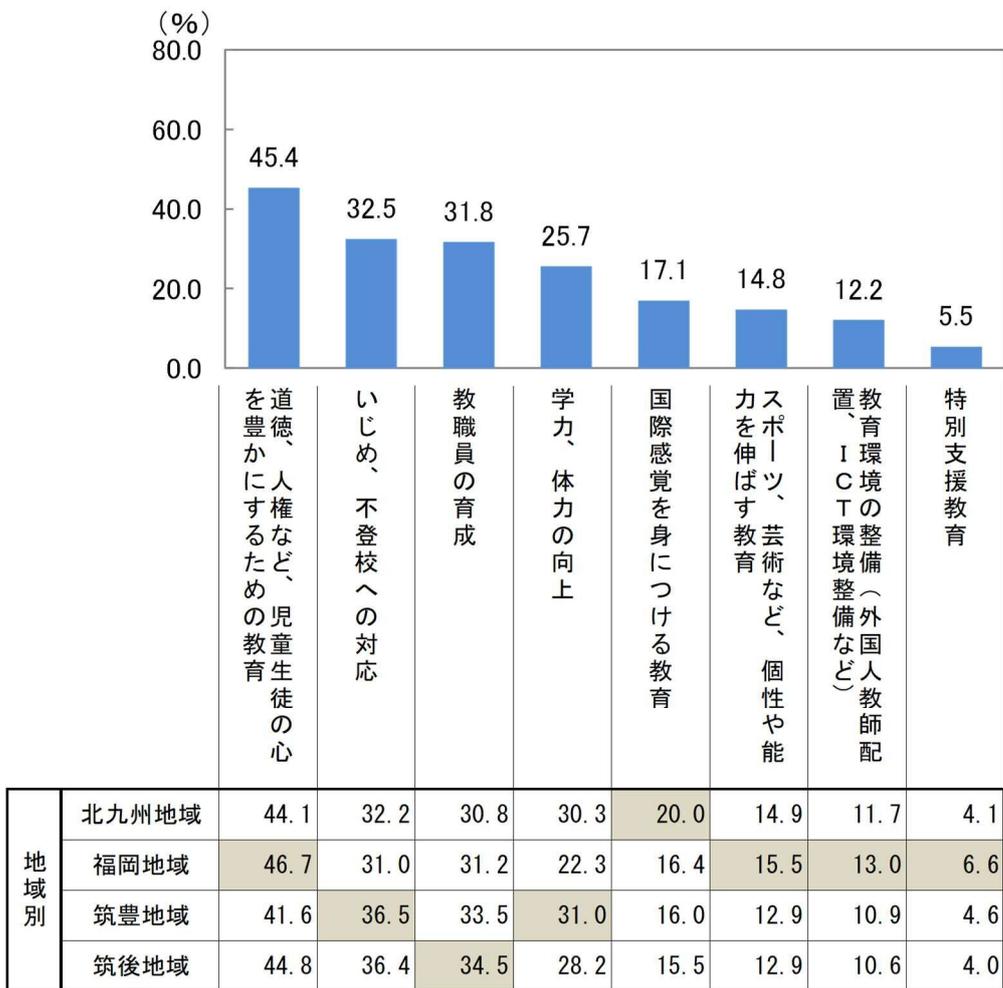
(22) 教育

【あてはまるもの2つ選択可】

学校教育について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「道徳、人権など、児童生徒の心を豊かにするための教育」(45.4%)が最も高く、次いで、「いじめ、不登校への対応」(32.5%)、「教職員の育成」(31.8%)、「学力、体力の向上」(25.7%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「国際感覚を身につける教育」が他地域と比較して高くなっています。

教 育



■ は4地域中で最も高い値の地域

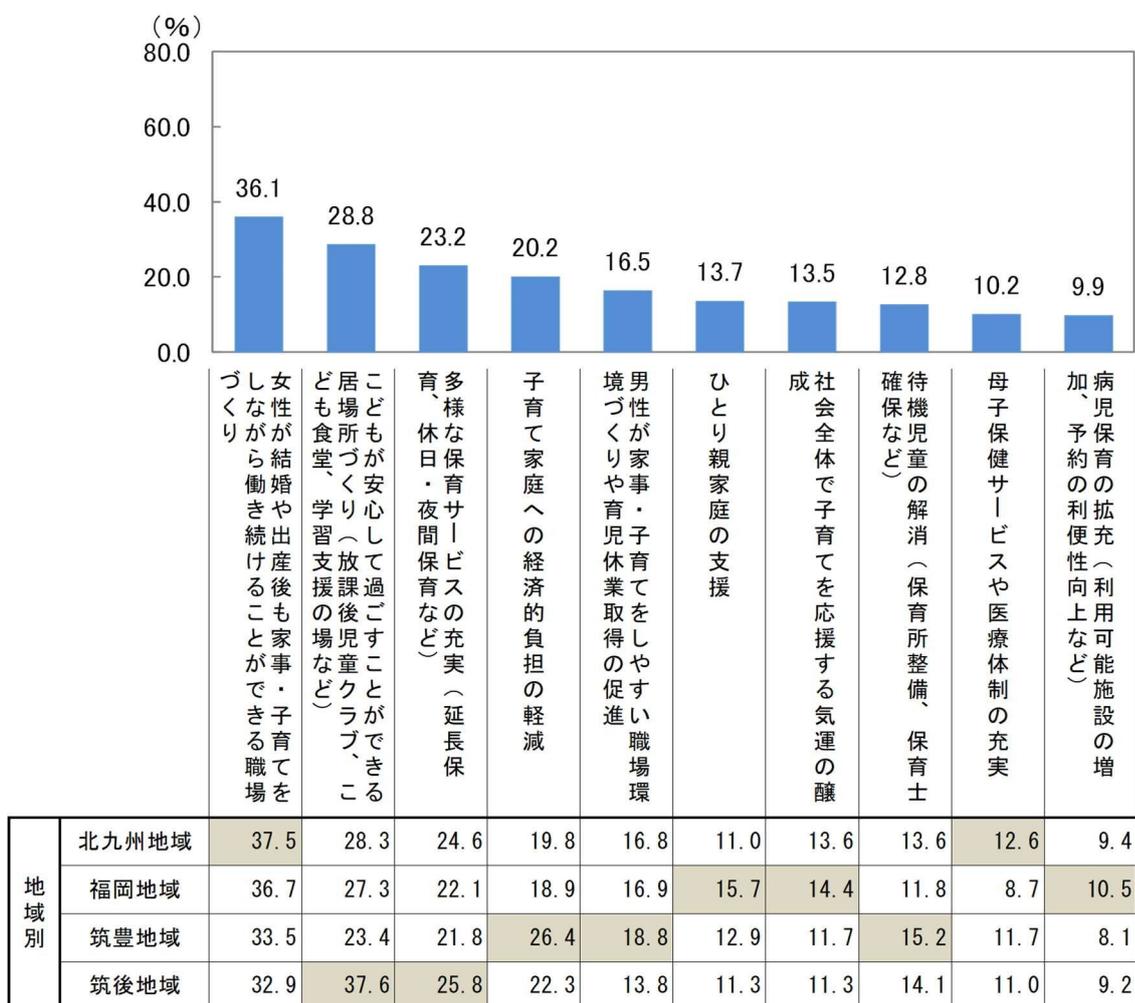
(23) こども・子育て支援

【あてはまるもの2つ選択可】

こども・子育て支援について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では女性が結婚や出産後も家事・子育てをしながら働き続けることができる職場づくり(36.1%)が最も高く、次いで、「こどもが安心して過ごすことができる居場所づくり(放課後児童クラブ、こども食堂、学習支援の場など)」(28.8%)、「多様な保育サービスの充実(延長保育、休日・夜間保育など)」(23.2%)、「子育て家庭への経済的負担の軽減」(20.2%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「こどもが安心して過ごすことができる居場所づくり(放課後児童クラブ、こども食堂、学習支援の場など)」が他地域と比較して高くなっています。

子育て支援



■は4地域中で最も高い値の地域

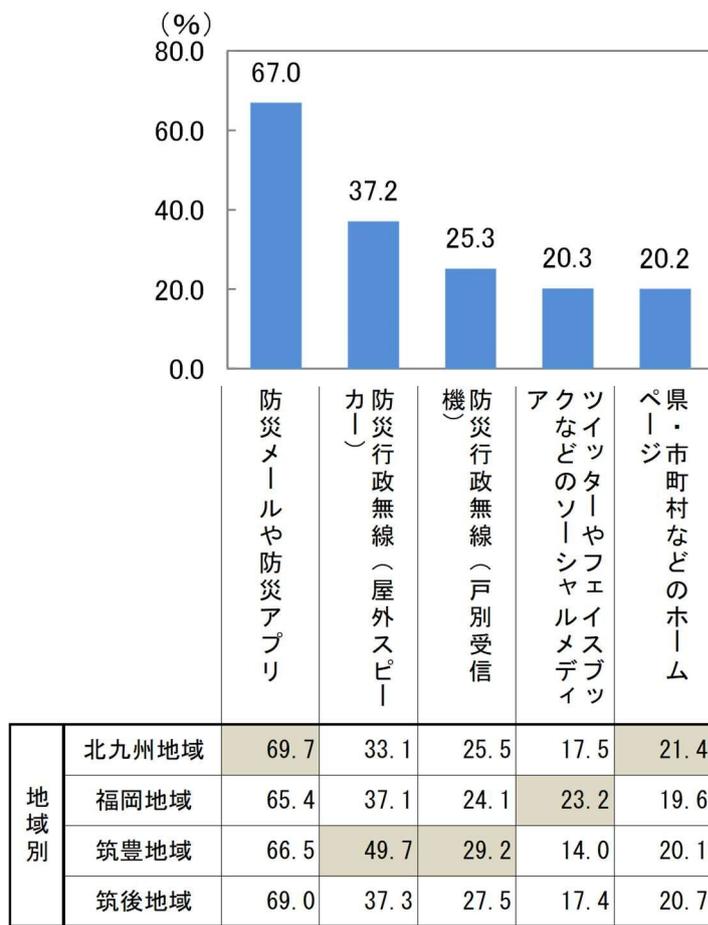
(24) 防災

【あてはまるもの2つ選択可】

災害時における避難指示や避難所開設状況などの情報について、有効だと思う手段を尋ねたところ、県全体では「防災メールや防災アプリ」(67.0%)が最も高く、次いで、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(37.2%)、「防災行政無線(戸別受信機)」(25.3%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「防災メールや防災アプリ」が最も高く、筑豊地域では「防災行政無線(屋外スピーカー)」が他地域と比較して高くなっています。

防 災



■は4地域中で最も高い値の地域

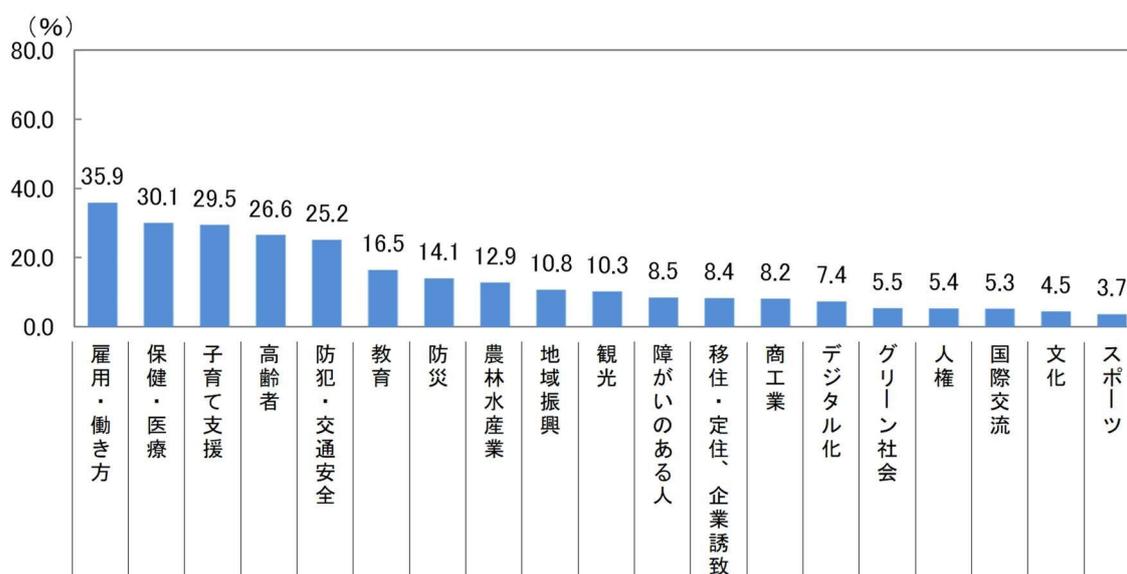
(25) 重点分野

【あてはまるもの3つ選択可】

行政に力を入れてほしい分野を尋ねたところ、県全体では「雇用・働き方」(35.9%)が最も高く、次いで、「保健・医療」(30.1%)、「子育て支援」(29.5%)、「高齢者」(26.6%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「人権」、福岡地域では「防犯・交通安全」、筑豊地域では「地域振興」、筑後地域では「農林水産業」が他地域と比較して高くなっています。

重点分野



地域別	重点分野 (%)																		
	雇用・働き方	保健・医療	子育て支援	高齢者	防犯・交通安全	教育	防災	農林水産業	地域振興	観光	障がいのある人	移住・定住、企業誘致	商工業	デジタル化	グリーン社会	人権	国際交流	文化	スポーツ
北九州地域	34.9	31.0	28.3	27.1	22.8	16.1	12.0	7.1	10.6	12.2	7.1	9.4	10.1	7.4	5.5	7.8	5.5	3.9	4.8
福岡地域	35.3	29.8	28.9	26.9	28.2	16.4	15.5	14.1	9.8	10.0	9.3	6.8	7.3	7.7	6.4	4.6	5.2	5.2	3.0
筑豊地域	37.1	31.5	33.0	25.6	16.2	22.6	10.9	14.2	18.0	9.1	6.9	9.4	7.1	5.3	3.3	4.1	4.8	2.5	4.6
筑後地域	39.0	28.9	31.7	25.1	22.5	14.3	13.8	16.9	11.3	8.7	8.5	11.7	8.7	7.5	3.5	5.2	5.2	4.0	4.5

■は4地域中で最も高い値の地域

3. 自由意見

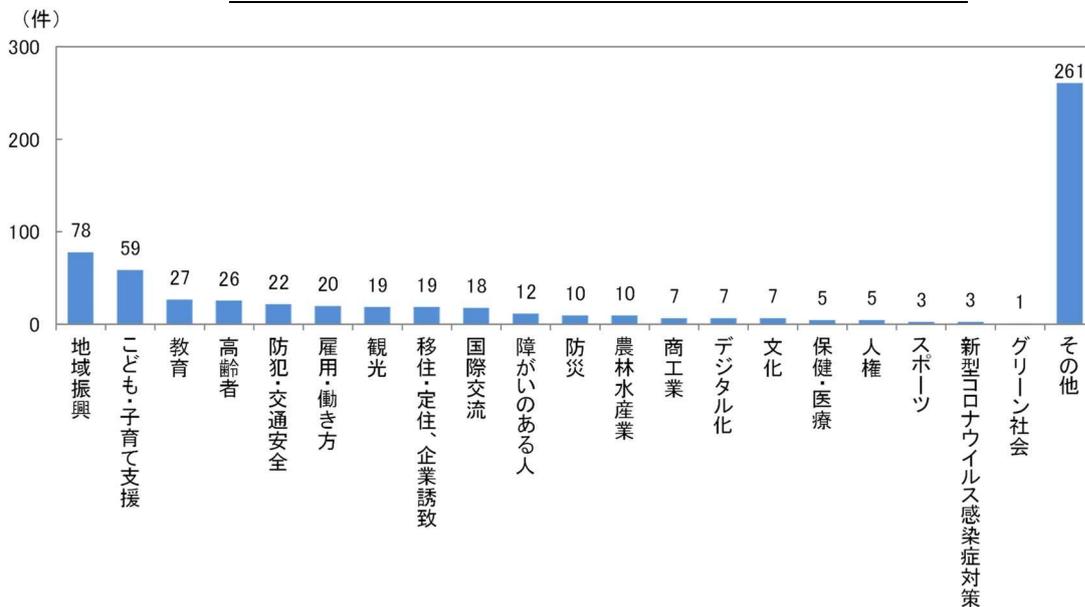
福岡県に期待することや思い描く将来の福岡県の姿について自由に回答してもらったところ、451人の方から、619件のご意見が寄せられました。

その内容を分野ごとに分類すると、「地域振興」「こども・子育て支援」「教育」などに関する意見が多く、それ以外にも多岐にわたって幅広く意見をいただきました。

また、どの分野にも該当しない「その他」では、「貧富・格差」「行政の対応」「少子高齢化・人口減少対策」「人材育成」「安全安心・思いやり」「生活保護・低所得者支援・貧困対策などの弱者対策」「家族・地域との繋がり」といった内容について、多くの意見が寄せられました。

以下に、分類した意見の数と、主な内容の一部をご紹介します。

自由意見（福岡県に期待すること、思い描く将来の福岡県の姿）



○地域振興

・道路環境の整備をもっと進めて、電動キックボードや電動自転車が気がねなく走行できる道路整備を望みます。将来的に徒歩圏内が電動キックボードなどで大きく広がり、高齢者や障がい者の方々が自由に広範囲に出歩くことで地域の活性化に繋がると思います。

・都市と自然が近接した現在の良好な生活環境を将来的にも維持して欲しい
 ・目新しい事にとらわれすぎず大事なことを置き去りにしない魅力ある地域づくりをしてください。
 ・福岡市一極集中を是正し、北九州・筑豊地区(旧豊前の国)の活性化(底上げ)をし、県財政が豊かで、県民が希望に満ち溢れた、600万人以上の県政を目指す。

・大牟田市は福岡県の最南端に位置し、県の存在感は非常に薄く感じます。
 ・今後どの県でもそうだが、ドーナツ化現象は必然的に起きるため、若者の移住は避けられないと思う。

現在、地域住民が少ない地区はより一層閑散となっていくと考えると悲しくなるため県の支援を考えて欲しい。

・バスが減便になってきたので通勤や買い物にもう少し低コストで便利のいい交通手段があれば良いと思う。

・筑豊の発展、教育の充実、学力の向上、他地域と比較して格差があると思う。建造物を整備し、住みやすい地域にしてほしい

○こども・子育て支援

- ・子育て支援の中で給食費が無償になってほしい。教育では、学費や授業料の見直し。ひとり親家庭や低所得の人々は一定金額の上限を設けるなど。
- ・賃金が変わらず、物価の高騰が続き、子ども2人を育てるのも大変な状況です。ひとり親や低所得者だけではなく、平等に補助を受けることができるようになってほしい。
- ・もう少し高校生、大学生のことを考えて欲しいと思います。小さい子供達に対する支援は充実していると思います。
- ・一人親や低所得ギリギリの方にもっと援助してほしい。一人親は18歳で助成が切れるので、学生(大学等)の間は医療補助だけでもつけてほしい。高齢者や障がい者の助成もいいが、今から働く子供たちにもっとお金をかけてあげてほしい。だれもが不安なく勉強できるようにして下さい。
- ・子供の教育に力を入れる。地域での子供会等の充実(人と人とのつながりが少なく)隣人の事がわからない。ゲーム感覚で人とのつながりもなく会話も少ない。家庭での親子の会話が少ない(家庭での教育が一番)
- ・一人暮らし、子育て世帯にやさしい町づくりをお願いしたいです。
- ・福岡全体の子育て世代がゆとりのある生活を送りやすいような街、ぜひとも福岡で子育てしたいと思える街になってほしい。

○教育

- ・学校教育に力を入れてほしい。障がい児や支援を必要とする児童だけでなく全ての子に大人目が行き届いて安心安全を与えてほしい。具体的には、1クラスの児童数減らし、教師を増やしてほしい。
- ・教師をたくさん確保し、教師1人の負担を減らし余裕のある教育をしてほしい。
- ・子ども達の教育の無償化。学ぶことへの平等さ。
- ・未来を担う、子供達の個性を生かす多様性のある教育に力を入れていただきたい。若者に雇用の場を与えて欲しい。高齢者や障がい者が安心して生活出来る環境を作って欲しい。
- ・政治についての教育を小・中・高と義務化して欲しい。真の民主主義教育を。
- ・将来を担う子供の教育は、大切だと思う。子供の減少の件や豊かな人間性を持つことができる教育のあり方、又、子供達を教育する先生の育成、すべて通じるものであり、切り離して考えられるものではなく、1つずつよいものへと変わっていくことを望んでいます。
- ・いじめのない魅力ある教育体制作りをお願いします。
- ・未来を担う子どもの教育を充実させてほしい。そのために特色ある教育施策の推進と教員の配置拡大、人材確保をお願いしたい。良い人材を集めるためには教員の業務の整理と待遇改善が必要だと思う。
- ・教育現場の人材不足をどうにかしてほしい。

○高齢者

- ・高齢の親が車の運転をやめた時に困らない交通手段がほしいです。市内はまだ良いのです。田舎に行くところにも行けません。
- ・都市部のみでなく、過疎地にも目を向けた施策を実施してもらいたい。※高齢者が安心して暮せる福岡県にってもらいたい。
- ・バリアフリー（階段だけでなく、エレベーターやエスカレーターを増やす）。
- ・「子どもが安心して住める」のではなく、今後老後を1人で生活するおひとりさまの為に「独居高齢者が安心して住める」県であってほしいです。
- ・交通に不便なところに住んでいる人はだいたい高齢者。無料のタクシーなど整備してほしい。近くに駐車場がない（山の上など）。
- ・高齢者が地域の人達と安心して交流でき、県や市に相談しやすい環境になればいいと思います。

○防犯・交通安全

- ・暴力団のイメージがあるので犯罪の少ない県になってほしい。
- ・バスは非常にありがたいが、朝の通勤ラッシュ時などは道路をバスが占拠しており車の運転がしにくい。これを改善してほしい。また、タクシーの運転も荒いので改善してほしい。
- ・電話やメールを使った詐欺をされない県民NO. 1。思いやりのある人間、県民NO. 1
- ・以前のように交番を多く希望する。おもに、県民生活を身近に、手助けをして下さるおまわりさん。
- ・犯罪のない平和な福岡県、魅力のある福岡県にして観光客を増やす。
- ・外部県の方々からいつも言われること（自分も思いますが）交通のマナーが悪い。危険。（市内特に）飲酒運転も多いのが気になります。

○雇用・働き方

- ・高齢者の働き口の拡大（年齢制限の撤廃）。
- ・30～40才の無職者の就職数向上。
- ・介護人材不足含め人材不足が深刻です。外国からの労働者や高齢者の労働者が働きやすい環境づくりをしてほしい。県民の健康維持への取り組みもお願いしたい。
- ・奨学金制度の改善、中高年層の雇用促進、税制改善、労働環境の改善
- ・住みやすいですが、田舎なので車の免許を持っていないと仕事を選べないし、免許の無い人は交通の便が悪く就職が難しい。
- ・正規雇用で安定した収入があり、安定した生活が出来る福岡県であってほしい。
- ・介護職員の給料を上げてほしい。上げられないなら休みを増してほしい。ストレス休日（有給）がほしい。高齢者の事だけでなく介護職員の事も考えて下さい。

○観光

- ・他県に比べ観光をする所が少ないので観光名所がもう少し出来たら良いと思う。夜景がきれいな所はココとかスイーツ巡りするならココとか、空港とか駅に小冊子で置いておくのもありかと思います。
- ・地域の特性を考慮した色んな祭り事（観光イベント）の促進を各自治体がお祭り気分でも推進してもらおう。
- ・アジアの玄関口として、国際社会との結び付きを重要視して人材育成、観光地としての魅力を向上させ収客、福岡県と国際都市との関係拡大。
- ・テーマパークなどを増やし、福岡県の観光地を豊かにしていく姿。
- ・海外に近い地理上の特性を生かした、観光、貿易に関して設備、およびそれらに関する教育体制を充実してもらいたい。

○移住・定住、企業誘致

- ・県主催の経営セミナーを開催して、県全体ののびしろのある中小企業が成長する事で、活性化するとよいと思う。
- ・企業誘致や次世代産業に力を入れ、人口増加、収入の増加を図る。そのために、都心に負けない教育を目指し、安心して移住できる環境を制備する。
- ・県内外から人が集まる魅力的な県になってほしい。都市部だけではなく各地域の特徴や特性をアピールして発信してほしい。
- ・県、全体でみると京築地域にはあまり予算を回していない様に思う。県境のためかもう少し九州で一番小さな町吉富町に予算をいただきたいです。企業も誘致してほしい。これからの子供に働く場をあげたい。
- ・県内でも田舎は人口減が著しく、インフラの維持が困難になると思う。企業誘致や機能分散で、福岡市周辺への一極集中にならないような政策を考えて欲しい。
- ・福岡市以外の市町村にも企業誘致等で雇用の機会を拡大していただけると地元でも働きやすくなるため助かります。

○国際交流

- ・外国人の受け入れ（仕事でも観光でも）は仕方ないことだが、外国人による犯罪や技術の持ち出し、迷惑行為（日本人もだが）をしっかりと取締りできるような法整備（条例整備）をしてほしい。治安がよく、日本人も外国人も楽しく暮せるような街作りのモデルケースとなってほしい。
- ・外から見た福岡県。外国人、移住者などが増えるなかで、もっとそういう方たちの意見を聞き参考にするのも大切かと。より開けた受け入れ体制などの充実で、多様な社会になることを期待する。今、もうそのような状況であるのであれば、その発信を、わかりやすく広く伝わるように。
- ・現状で外国人を受け入れてもトラブル等増えると思う。外国人を受け入れる体制を整えるためにも子供の教育（外国語等）に力を入れグローバルな教育に力を入れるべき。そのためにも教育が重要なのでできるだけ学費無料化をすすめるべき。
- ・外国人労働者が安心して働ける様な体成を取って欲しい。
- ・海外との交流が日常的になってくるため、学校授業でもネイティブな英語教育が受けられるようにする。国内外で文化の交流が行えるようにしたい。

○障がいのある人

- ・共稼ぎ世代の子育て支援・障がいのある人への手厚い支援。
- ・障がい者の就労場所を増やしてほしい。そして、働き先のサポート役の人員配置は適切な配置をしてほしい（知識の浅い人がいたことがある）。適切な配置がなかったため問題が起きたことがあると、そこで働いている知人から聞いた。本人も大変そうなので、改善してほしいと思う。
- ・障がいのある人でもその人の個性が活かせる就職支援、また雇用側も障がいに対しての知識や支援に関する専門的な研修を行えるようにする。
- ・現在、発達障がいを持つお子さんが大変増加傾向にあります。それに対して学校等の支援者が足りていないのが現状。市町村によって支援者の給与は違いがあるも、労力や時間拘束に対して見合っていない。これだと支援者が少ないのも当たり前です。もっと教育にお金をかけるべきだと思います。安心して子供を生み、育てることに繋がっていくのではないのでしょうか。

○防災

- ・毎年同じような地域で水害が起っています。家、農業など、数々の所に被害が及んでいます。より一層の対策をお願いします。
- ・福岡市を中心に活性化を進める。最近は大災害による被害が多く出ていますが、そういうのは決まって地方。河川整備や森林管理を進め道路などのインフラを整備して、各市がお互いを盛り上げていけるよう協力し合う。
- ・大雨や台風などによる被災を極力防ぐ防災県を目指してほしい。
- ・豪雨で冠水する所の整備をしてほしい。いつも冠水する所は同じなのに改善がない。
- ・最近、台風や大雨による被害が毎年起っています。県全体が安心して住めるようにしてほしい。

○農林水産業

- ・農家です、兼業農家です。お米作りをしています。農業はきつく、大変ですが、収入はわずかです。割に合いません。福岡産のお米を適正な価格で販売し、農家にも見合う収入があればと思います。
- ・商工、農林、水産業に携わる個人事業主の方たちが長く事業を続けられる世の中。
- ・食品添加物や農薬をせめてイギリスぐらいの基準に変えて地産地消できる農業。県内で食料自給率を100%に目標にし、食育をしてガンや病気にならない生活。
- ・私の住んでいる地域では、少子高齢化が進んでいます。農業が盛んですが、農家の皆さんはご高齢で、若手が後継する印象もありません。若手が農業に関心をもてるような対策を期待してます。
- ・森林がたくさんあるのに、関わる職業に就こうという人が少ない。森林の成長サイクルや産業としての人材確保をしてほしい。

○商工業

- ・福岡市を柱とした、過疎地域との教育、産業の連携にも目を向ける。
- ・先進産業・教育や文化を通じて、世界の誰もが福岡の名前を知るような知名度を持った街にしたい。
- ・建設業ですが、人手がまったくいません。日当 10,000~12,000 でも人は来ません。もっと建設業が潤う環境にしてほしい。あと、10年もしたら日本人の働き手がいなくなります。

○デジタル化

- ・ICTを活用した教育等により、学生さんなど学びたい方が福岡県に住んだまま高度な教育を受けられ、その能力を活かしてほしい。
- ・市報など紙ではなくデジタル化。
- ・学校及びPTAのデジタル化、効率化。

○文化

- ・福岡県民として他県に誇りを持って自慢出来る歴史や文化を県民に啓蒙している努力をしてほしい。
- ・生活にゆとりがあり、お互いに尊敬しあえる社会。
- ・子ども施策や文化（福岡の独自文化）の確立に力を入れてほしい。
- ・文化や芸術を大切に、学ぼうとする気力に満ちている県であってほしい。

○保険・医療

- ・それ程遠くない将来、この土地で、安心して、周りに感謝しながら、人生の幕を閉じたいと思える様な医療体制、環境であって欲しい。
- ・市、町、村に差が有ると思いますが、身近に病院が少なく、専門的に掛る時は遠方まで行かなくてはならない為、総合的な病院が近くに有ると良い。特に高齢化が進む中いざと言う時に間に合わない。
- ・高齢者の高血圧、成人病などは運動や生活習慣で改善できるものが多いと思います。医療保健の圧迫や個人の医療費を減らす為にも運動習慣をつける取り組みを行ってほしい。

○人権

- ・(大人と子供) 各人権が尊重され、文化的でインターナショナルな都市になること。その為には、インフラ、サイン、レイアウトが完璧な町作りが基盤として必要となる。
- ・LGBT関連の対応。
- ・多様性。性別の自由。異性同性関係なく結婚をできる取り組み。

○スポーツ

- ・子供がスポーツを楽しむための環境づくり。スポーツを通じた地域経済活性化。
- ・健康寿命が伸ばせるように、公民館でトランポリン教室が定期的におこなわれるように助成金等を出して欲しいです。また広く平等にその教室に通えるように抽選方式を取ってほしいです。
- ・気軽に参加できるマラソン大会を増やしてほしい。

○新型コロナウイルス感染症対策

- ・新型コロナウイルス感染症対策に特に力を入れて欲しいです。
- ・九州でリーダー的役割の福岡県。又観光等の外国からの玄関口としても知られている所である。これらを継続しつつ、今後の観光、経済の発展を目指す事。高齢化社会に向けウィルス対策等、健康面に留意すべく、医療体制の充実を図って欲しい。
- ・コロナ対策を続けてほしい。感染が減っているとは思えない。マスクをしない人が増えて不安。医療従事者はマスクをしているが、飲食店の従業員はしていない所が増えてた。マスクをしないなら、接客しないでほしい。

○グリーン社会

- ・福岡の魅力は行動力、発信力だと思う。昨今、環境問題への取り組みは早急な課題と言える。福岡の力で、まわり(世界)を巻き込み、引っ張って行ってほしい。ゴミ問題も海外をみならって引っ張って行ってほしい。

○その他

(貧困・格差)

- ・私は筑豊に住んでいますが、福岡都市圏との格差が広がりつつあり特に学校教育レベルの是正と旧市街のシャッター通りの解消に努めていただきたい。
- ・地方に住んでいますが、市内との教育、生活の質、医療に関すること、全てに格差を感じます。企業が誘致されても近隣の都市部に住居を構えるなど、人口が減るばかり。対策を検討してほしいです。
- ・お金の問題で子どもを諦めなくていい環境・高齢者ももちろんだが、これからを担う若い世代への支援。
- ・福岡市とそれ以外の地域の雇用、賃金などの格差の縮小。
- ・職員の質の向上。他県と同様に少子高齢化、貧富の差、子の学力の差が出てくるだろうと思う。比例して、治安も悪くなるだろうと思う。
- ・地域格差の解消。

(行政の対応)

- ・市民がお金に苦しんでいる今、福岡県は何もしないのか？物価が高い為、もっと市民にお金を渡すべきだ。
- ・福岡市内在住です。正直申せば行政サービスでどこからが県で、どこからが市かわかりにくいです。
- ・空き家が多くなり荒れている場所が目立っています。国の土地も行政に相談しても草刈り等してくれません。責任をもって仕事をしてほしいと思っています。見える所だけ手をかけないで時々自分達の目でしっかり地域を見て下さい。
- ・下水道の整備。トイレの水洗化。
- ・どんな事でも、行政に相談できる場所があり、それを、県民がわかりやすく気軽に相談できるような県になって欲しいです。
- ・要望に対しての対応が遅い。要望に対しての答が届かない。
- ・行政は、動きが遅いため、残念に思います。福岡県単独で動ける仕組みがあると、たとえば教育改革なども早く行えるのではと感じております。
- ・九州の中核県として他県を引っ張っていくような気迫で各種行政に取り組んでいただくことをお願いします。
- ・現在進行中の事業等を更に推進させて下さい。

(少子高齢化・人口減少対策)

- ・高齢化社会になっていく今後、今の知事さんでは不安です。
- ・少子化対策を国ではなく県独自でやってほしい。結婚したくても、収入が少なくて出来ない人が多い。
- ・少子化対策に対して、不妊治療に伴う職場に対する負担の軽減、配慮等の教育を企業や会社全体で行って欲しい。
- ・人口減が顕著な地域に対する支援。県全体が活力のある将来像に期待したい。福岡市の一極集中をなんとかして是正してほしい

(人材育成)

- ・子は県、国にとってかけがえのない宝である。社会全体で子育てを応援する気運を本当に醸成していただきたい。公園でのボール遊び禁止や、子供の騒音等により、子供の遊び場を撤去等もってのほか。もっと大人が子供子育てをサポートすべし。
- ・次世代の子供の育成。
- ・少子高齢化で子どもの数は減少の一步をたどり、子どもは国の宝その通りではないでしょうか。未来を託すのは次の世代。その子ども達がこれだけ社会の中で経済への負担は大きい。海外からの特定技能者、技能実習生など現在いる外国人をどのように社会に取り組みか、移民化政策を早急に取っていかないと県も立ち行かなくなる。政策の見通しが20年遅過ぎました。
- ・どの分野についても、長い目でみるなら人を育てることが必要だと思います。若い人、世代が安心して子育て、家庭を運営できる世の中になってほしいものです。
- ・子供が安心して暮らせる治安と、将来地域を発展させるための人材育成。

(安全安心・思いやり)

- ・福岡を誰もがが良い県だと、広めてゆくことはとても大事な事。安全で、安心と思える市、町、村であってほしい。
- ・だれもが安心安全に生活できるように。
- ・子供が一人でも買い物行けるような安心安全な社会でありますようにお願いします。
- ・安全・安心で治安の良い福岡県を望みます。
- ・各年代が安心して暮らせる県であってほしい。

(生活保護・低所得者支援・貧困対策などの弱者対策)

- ・物価があがり生活しにくい。生活しやすい社会がほしいです。
- ・何も期待する事は無い。低所得者は毎日の生活に追われているので。
- ・新型コロナで収入激減。コロナ前より収入が半分以下になった。一人親世帯、低所得者にも当てはまらない、我が家のような家庭も沢山居ます。税金は納めてるのに不公平だと思ってしまう。もっと平等にしてほしい。家計が苦しいのは共働き世帯も同じです。
- ・年金が減り、不安。

(家族・地域との繋がり・幸福)

- ・住みやすい町づくりをお願いします。企業誘致や商業施設の充実だけでなく、隣人同志が助け合えるような社会作りが良いと思います。
- ・コロナ禍により人との繋がりが薄くなった様に思われます。安直にSNSの世界に入りこみやすくなり、もっと直に、人と人が繋がりがあえる住みやすい福岡県であってほしいです。
- ・地域住民の結びつき。自治会加入者が少ない。
- ・全ての県民が生きがいを持って生活できる環境の整備をお願いします。
- ・あなた達を含め、みんなが明日を楽しみと思えるような福岡県。

(税金・年金・社会保障)

- ・ 税収が少ない自治体に暮らす県民の経済的負担を減らしてほしい。
- ・ 市・民税及び医療費の抑制。
- ・ 県独自の減税対策。
- ・ 高齢者が年金だけで不自由なく生活が出来るようになれば良い。

(経済発展・経済成長)

- ・ 天神ビックバンやリッツカールトン、博多駅周辺と新しくなりワクワクします。観光や企業の誘致、大きなイベントなどでもっと盛り上がることに期待します。
- ・ 商工、農林、水産業に携わる個人事業主の方たちが長く事業を続けられる世の中。

(いじめ・虐待・差別をなくす)

- ・ 児童虐待のニュースを聞くたびに行政と福祉で何の為に防止法があるのか毎回児童を保護出来ないのか？必要な措置を取ってほしい。特に児童相談所の対応が遅い。地域で子供を守ることも早期発見になるので通報する意識をもってほしい。
- ・ 差別のない福岡県。
- ・ DV家庭、虐待されている子供達を保護する施設を多数作り、せっかく生まれた命をもっと強く守ってほしい。

(その他)

- ・ 住み良い街に期待しています。インフラや県民のマナー向上。
- ・ ごみが落ちていることが多いので、街が美しくなっても治安はあまりよくないと感じます。騒ぐ若者も多い、駅周辺の朝の風景が、落ち着いた雰囲気になると嬉しいです。
- ・ 福岡市は自力で発展する能力があるので、他都市に多く投資して欲しい。
- ・ どんな人（高齢者・外国人・障がい者 e t c …）でも暮らしやすい県
- ・ 福岡県民が誇れるもののアンケートをとったりしてランキング視覚化して、何年かに1度でもいいので更新していく仕組みとか作ってほしい。他県の人が好きな福岡特産品ランキングとかも同じ様にすると面白いかなと思います。楽しくないと若者も興味もってくれないと思います。良い所はより解りやすくするのは大事だと思います。

IV. 資料編

＜調査票＞

福岡県民ニーズ調査

～記入上の注意点～

1. 必ずご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。ただし、ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意見などを代理の方が記入されてもかまいません。
2. 各質問のご回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号に○をお付けください。質問文に「1つだけ」、「2つ」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
3. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
4. 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）の中に具体的に記入してください。

調査票の回収について

次のいずれかの方法で、7月14日（金）までにご提出ください。

郵送回答

ご記入後、調査票を折って、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函してください。

インターネット回答

次のURL又はQRコードから回答画面へアクセスし、回答してください。

<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/V7vt6ws8>

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です



- この調査は無記名で行い、ご回答の内容については、「こういう意見の方が全体の何%」というように、すべて統計数値として集計いたしますので、お答えいただきました方のお名前や個人の回答内容が公表されることは一切ございません。
- これまでに実施した同調査（福岡県民ニーズ調査）の結果は、福岡県のホームページでご覧いただけます。
*インターネット検索で「福岡県民ニーズ調査」とご検索ください。

【お問い合わせ先】

調査主体：福岡県企画・地域振興部総合政策課重点政策班 担当：林
住所：福岡市博多区東公園7番7号
TEL：092-643-3158 FAX：092-643-3160

調査実施機関：株式会社 サーベイリサーチセンター九州事務所 担当：小泉
住所：福岡市博多区博多駅東2丁目6番26号
TEL：092-411-8811 FAX：092-411-8851

1 新型コロナウイルス感染症の影響について

問1 新型コロナウイルス感染症の発生前と現在を比較して、暮らしの面でどのような変化を生じましたか。また、悩みやストレスについて、どちらに相談していますか。

(1)～(3)からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

(1) 本人または家族への影響

1. 本人や家族の収入が減少した
2. お金や仕事のことで悩みやストレスが増加した
3. 子どものストレスや学習面での不安が増加した
4. 健康への悩みやストレスが増加した
5. 家事・育児に関する夫婦の役割分担が改善した
6. 家庭内でのトラブル、悩みやストレスが増加した
7. 家族のコミュニケーションが取れるようになった
8. 将来に対する不安が増加した
9. 人間関係のことで悩みやストレスが増加した
10. 悩みやストレスは減少した
11. その他 ()

(2) 悩みやストレスの相談先

1. 家族や友人に相談している
2. 公共や民間の相談窓口を利用している
3. 病院や診療所の医師に相談している
4. ラインやツイッターなどのソーシャルメディアで相談している
5. 相談する相手がいない
6. その他 ()

(3) 余暇、趣味など日々の暮らしへの影響

1. 親しい人との会話や付き合いが減少した
2. 煩わしい人づきあいが減少した
3. お店に行って買い物をするのではなく、ネット通販や宅配など、新たな手法を利用するようになった
4. 外での飲食の機会が減少した
5. 旅行やレジャーの機会が減少した
6. 体験型エンターテインメント（ライブ、映画鑑賞など）の機会が減少した
7. イベントや集会への参加の機会が減少した
8. 運動やスポーツの機会が増加した
9. 趣味や学習などに時間が取れるようになった
10. その他 ()

(保健・医療)

問 13 健康で長生きすることができる社会づくりのために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 自主的な健康づくりの支援
2. 生活習慣病対策
3. がん対策
4. むし歯、歯周病対策
5. こころの健康、ひきこもり、自殺防止対策
6. 難病患者への支援
7. 感染症対策
8. 救急医療体制の確保
9. へき地医療対策
10. 医療・看護を担う人材の育成・確保
11. その他 ()

(スポーツ)

問 14 スポーツを推進し、さらにスポーツの力で県と県民生活をより豊かにするために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保
2. 学校におけるスポーツ活動（体育や運動部活動）の充実
3. トップアスリートの育成、指導者の育成・資質の向上
4. スポーツ施設の充実
5. スポーツにおける健全性の向上（体罰、暴力、ハラスメント等の防止）
6. 大規模スポーツ大会やスポーツの強化合宿等の誘致
7. スポーツ産業の振興を通じた地域経済の活性化
8. その他 ()

【参考設問】

Q1： 県では、性別によって差別されることなく、人権が尊重され、社会のあらゆる分野で能力を発揮できるよう取組をすすめています。

このことについて、以下の2つのことをお尋ねしますので、「思う」「思わない」のいずれかを○で囲んでください。

- (1) 日々の暮らしの中で、性別による差別を感じることもある
(1. 思う 2. 思わない)
- (2) 仕事の中で、性別による差別を感じることもある (1. 思う 2. 思わない)
※ (2) は仕事をされている方のみ回答

Q2： NPOの活動やボランティア活動（以下、社会活動という）について、以下の2つのことをお尋ねしますので、あてはまる選択肢を○で囲んでください。

- (1) 社会活動の経験はありますか (1. ある 2. ない)
- (2) あなたは、今後、社会活動に参加してみたいですか (1. はい 2. いいえ)
- (3) 【(2) で「はい」と回答した方】どのような社会活動に参加してみたいですか
(1. 被災地支援、2. 地域交流、3. 子育て、4. 環境、5. 国際交流
6. スポーツ、7. 文化、8. 教育、9. その他 ())
※あてはまるものすべてご回答ください。

Q3： 今お住まいのあなたの地域で実感することについて、次の中からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

1. 若い世代が少ない
2. 買い物がしづらい（店舗数の減少）
3. 空き家が多い
4. 働く場が少ない
5. 病院が少ない
6. 公共交通機関（バス、鉄道など）が少ない
7. 道路が整備されていない
8. 地域の担い手（町おこし、消防団など）が少ない
9. その他 ()

Q4： あなたは、SDGs（エスディーゼズ）という言葉聞いたことがありますか。あてはまるものを1つ選び、○で囲んでください。

1. 良く知っている
2. 少し知っている
3. 聞いたことがあるが、内容は知らない
4. 聞いたことはない



※SDGs（Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標）

「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済、社会、環境をめぐる広範な課題に取り組む、2030年までの達成を目指す国際目標のこと。

Q5： あなたは、この1年間に、ホール、劇場、美術館などで、料金を支払い、文化芸術を鑑賞したり、体験したりしたことはありますか。次の中からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

1. 音楽
2. 美術
3. 演劇、舞踏
4. 伝統芸能・民族芸能（能楽、歌舞伎、神楽など）
5. 生活文化（茶道、華道、書道）
6. メディア芸術（映画、漫画、アニメ、デジタルアートなど）
7. 文化財等（歴史的建物、史跡など）
8. 鑑賞、体験したものはない
9. 分からない
10. その他（)

【基本項目】

ご意見をお尋ねするのは、以上で終わりですが、お答えいただいたご意見を統計的に分析するため、あなたご自身のことやご家族のことについて、差し支えない範囲でお聞かせください。

F 1. あなたの性別を以下の欄にご記入ください

(記入欄)

F 2. あなたの年齢（記入日現在）はおいくつですか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 18・19歳 | 5. 50～59歳 |
| 2. 20～29歳 | 6. 60～69歳 |
| 3. 30～39歳 | 7. 70歳以上 |
| 4. 40～49歳 | |

F 3. あなたの職業はどれにあたりますか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 農林水産業（家族従業者を含む） | 5. 家事専業 |
| 2. 自営業・自由業（家族従業者を含む） | 6. 学生 |
| 3. 企業、役所、団体などの正規職員 | 7. 無職（定年退職者を含む） |
| 4. パート・アルバイト、契約社員、派遣社員など | 8. その他
() |

F 4. あなたはお子さんがいらっしゃいますか。同居、別居は問いません。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

F 4-2. お子さんがいらっしゃる方（「F 4.」で「1」を選択した方）のみにお尋ねします。小学校入学前（乳幼児を含む）のお子さんがいらっしゃいますか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

F 5. 現在お住いの市町村名についてお尋ねします。1つだけ選び、○で囲んでください。

(○は1つだけ)

北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
1. 北九州市	14. 福岡市	34. 直方市	49. 大牟田市
2. 行橋市	15. 筑紫野市	35. 飯塚市	50. 久留米市
3. 豊前市	16. 春日市	36. 田川市	51. 柳川市
4. 中間市	17. 大野城市	37. 嘉麻市	52. 八女市
5. 遠賀郡芦屋町	18. 宗像市	38. 宮若市	53. 筑後市
6. 遠賀郡水巻町	19. 太宰府市	39. 鞍手郡小竹町	54. 大川市
7. 遠賀郡岡垣町	20. 古賀市	40. 鞍手郡鞍手町	55. 小郡市
8. 遠賀郡遠賀町	21. 福津市	41. 嘉穂郡桂川町	56. うきは市
9. 京都郡苅田町	22. 朝倉市	42. 田川郡香春町	57. みやま市
10. 京都郡みやこ町	23. 糸島市	43. 田川郡添田町	58. 三井郡大刀洗町
11. 築上郡吉富町	24. 那珂川市	44. 田川郡糸田町	59. 三潴郡大木町
12. 築上郡上毛町	25. 糟屋郡宇美町	45. 田川郡川崎町	60. 八女郡広川町
13. 築上郡築上町	26. 糟屋郡篠栗町	46. 田川郡大任町	
	27. 糟屋郡志免町	47. 田川郡赤村	
	28. 糟屋郡須恵町	48. 田川郡福智町	
	29. 糟屋郡新宮町		
	30. 糟屋郡久山町		
	31. 糟屋郡粕屋町		
	32. 朝倉郡筑前町		
	33. 朝倉郡東峰村		

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

*ご記入後、アンケート調査票を折って、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、7月14日（金）までに郵便ポストに投函してください。